

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



経済学
部
蔵
5Z
1516

天保十二年歲次己巳歲

所改草所題意名作禁所福書

英落者一併字

天保十四年三月廿二日

金沢貸借相續簿

方

急居甲斐信濃

小

瑞居内通候



39949

近年以來法向甚... 國勢下若欲成... 也
 活法有... 果年倍... 乘... 乘... 乘...
 贈... 向... 此... 乘... 乘... 乘... 乘... 乘...
 思... 思... 思... 思... 思... 思... 思... 思...
 云... 法... 法... 法... 法... 法... 法... 法...
 金... 年... 廣... 廣... 廣... 廣... 廣... 廣...
 元... 未... 相... 對... 於... 於... 於... 於...

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

事之者其近也... 此等之說... 裁許...

不亦身自... 裁許... 裁許...

惟其... 裁許... 裁許...

向後... 裁許... 裁許...

全派利... 裁許... 裁許...

世之通方... 必無... 國其... 若支...

一... 裁許... 裁許...

庚子書...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...

右...
...
...
...
...

右...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...

所

子

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

中

入 菱垣史殿 横河 在 海月 舟 月 不 是 延 年 引 令
去 之 乃 有 旨 矣 之 冥 如 上 納 汝 來 以 事 同 殿 也
不 樂 獲 也 也 矣 以 舟 以 某 上 納 之 處 也 者
也 據 在 仲 之 舟 株 札 去 勿 論 以 舟 船 同 殿
仲 之 舟 組 合 也 也 也 獨 後 也 也 也 也 也 也 也 也
舟 之 也 是 也 力 船 候 來 也 後 也 也 勿 論
始 行 也 也 皆 行 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也

附子味辛性熱... 爲天師家名貴藥... 其功與心腎... 氣壯... 血... 脈... 絡... 通... 入... 者... 凡... 文... 靈... 劑... 也... 益... 氣... 功... 也...

右過河... 之限町中... 滿... 在... 子... 一... 節... 知... 之... 也...

三月

名至... 經... 類... 考... 搜...

名至... 經... 類... 考... 搜...

一... 經... 類... 考... 搜... 經... 類... 考... 搜... 經... 類... 考... 搜... 經... 類... 考... 搜... 經... 類... 考... 搜...

蓬市形仕集

宣和月廿七日

宣和月廿七日

名臣
外下
文

一曰蓬市形仕集
中蓬市形仕集
名臣外下

心海同有
蓬市形仕集
名臣外下

呼下財貨之有用總合也其下財貨

中獨之有用之合獨也其下有財貨

則在石核者重之今係在重之財貨

一 拾得札并同存件之組合也

右取捨也其用也右取十組也

右取捨者前有二種也其用也

右取捨也其用也右取十組也

右取捨也其用也右取十組也

云代納為主替人是以債權材也然於其用

以右取捨也其用也右取十組也

以右取捨也其用也右取十組也

以右取捨也其用也右取十組也

以右取捨也其用也右取十組也

以右取捨也其用也右取十組也

以右取捨也其用也右取十組也

以右取捨也其用也右取十組也

箱崎の山後村に於ては
 印の形を考へて爲る者なり

波草舟の類を以て其の

國の之を以ての如くは不爲るに
 後、其の形を以て之を以て
 波草舟と稱するなり

今かききりの場へありて

舟の造りて其の形を以て之を以て

物言以後本抄之類多被遺失方一書
印於本卷之末為志科

坂町書助者

程三郎

口人抱孫若以也

考三郎

村人美居抄芳也

考三郎

考三郎

考三郎料理書

考三郎

文七

日可
學府
日人

之系

青

在

好

日人

揚十

日人

文

兼

在

定

助

日可

日人

平

木挽河
想云庭

橙 毛助

十人抱薯
細作梅舟

綱 助

日人芝居芳幾

徳 秀
松 翁

古芝居料理書
熱代

長右馬

水五郎

此發市中肉信及松之
任此收者芝居之色
日格三夏時三芝居
書成在舟中自出市中

後、生来別石地那、在廣又至町、流為
之事、杯急、其居、祀り、是、候、付、依、り、計、書、
宛、前、角、前、南、附、

所、城、下、市、中、之、表、其、中、之、河、標、之、家、求
所、以、事、之、一、種、及、者、在、其、中、身、分、之、
別、有、之、事、以、一、つ、と、之、事、之、事、之、事、之、
在、城、下、市、中、之、表、其、中、之、河、標、之、家、求
所、以、事、之、一、種、及、者、在、其、中、身、分、之、
別、有、之、事、以、一、つ、と、之、事、之、事、之、事、之、

町、家、下、石、地、門、那、之、地、分、之、事、之、事、之、
古、為、之、地、之、事、之、事、之、事、之、事、之、
有、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、
後、者、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、
此、者、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、
門、拂、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、
後、者、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、
其、後、者、之、事、之、事、之、事、之、事、之、事、之、

右通正作... 天保中二年正月十八日

天保中二年正月十八日

右

交七 勇七 交七 勇七 交七 勇七 交七 勇七

交七 勇七 交七 勇七 交七 勇七 交七 勇七

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 一, 二, 三, 四, 五, 六, 七, 八, 九, 十, 十一, 十二, 十三, 十四, 十五, 十六, 十七, 十八, 十九, 二十.

右
權 三 助
綱 助
他 助
松 助
長 助
勇 助
奈 助
衣 助

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 一, 二, 三, 四, 五, 六, 七, 八, 九, 十, 十一, 十二, 十三, 十四, 十五, 十六, 十七, 十八, 十九, 二十.

右
好 古 邊
橋 十 序
文 吉
定 吉
吾 助
新 云
利 吉

久延 利息債

能 簿

一 家保寛政の度町の簿集 沖積意に
 たりしを右に志書の上簿意の意を右の簿面
 年延の簿意を後簿意に換算するに於て
 此後た通古簿の
 一 不足の在りし簿意を簿意に換算し
 向後年月は是迄換算したる中事
 一 能簿集志結構成不わりの簿意向後在候

一 糸巾用寸半

一 寸半寸高薄刀甲寸二枚之於金浪令其
在他人袖之内寸半寸之巾用寸半寸
糸巾用寸半寸令入之之巾用寸半寸
型之巾用寸半寸海法巾用寸半寸巾用寸半寸

一 寸半寸之巾用寸半寸令入之巾用寸半寸
巾用寸半寸巾用寸半寸巾用寸半寸

一 糸巾用寸半

一 寸半寸高薄刀甲寸二枚之於金浪令其
在他人袖之内寸半寸之巾用寸半寸
巾用寸半寸巾用寸半寸巾用寸半寸

一 寸半寸之巾用寸半寸令入之巾用寸半寸
巾用寸半寸巾用寸半寸巾用寸半寸

平正連以佛波多古卷之書法

下標第卷之... 終之勿偏整甲細入紙之...

不並松代紙百段... 不並松代紙百段... 不並松代紙百段...

中並仕込...

一發結、偏細之切と極又之女子...

結之右並... 右並...

共其後... 共其後...

敷路... 敷路...

不目之... 不目之...

若其有... 若其有...

南... 南...

法... 法...

格... 格...

少... 少...

改... 改...

仕... 仕...

停止在唐國之集德而之類亦有若於者
及人書之定案整令其用檢者智以言汝
若之捕及後事此亦事之若若神
者有之之若之面也若一而若自今
若修言價之若或若方之若若
其若所下若何之任若若右通若第若
作若

一物重踏之信賜有許割禁之候而痛出候
由家之而之取即之若若若之若若若
今以物重若若若若若若若若若
之若若若若若若若若若若若若
若若若若若若若若若若若若若
若若若若若若若若若若若若若
若若若若若若若若若若若若若
若若若若若若若若若若若若若
若若若若若若若若若若若若若

西立... 武士... 少... 力... 不...
西立... 武士... 少... 力... 不...
西立... 武士... 少... 力... 不...

宣二月廿日

町年号

没所

一湯... 仲... 但... 以... 者... 今... 柴... 右...
一湯... 仲... 但... 以... 者... 今... 柴... 右...
一湯... 仲... 但... 以... 者... 今... 柴... 右...

海軍町新書

卷八

一、以著燻豆腐、海世、改集、紅、在、集、豆腐、
大、美、豆、在、限、本、場、之、石、抱、落、之、腸、之、在、之、以、
水、豆、腐、を、十、丁、又、を、十、丁、切、割、焼、豆、腐、
油、揚、及、骨、右、唯、一、以、代、海、豆、腐、を、十、丁、
之、信、文、焼、豆、腐、油、揚、の、以、文、之、賣、出、一、以、
今、教、依、之、在、限、潤、有、の、を、以、元、取、之、

取、之、在、限、下、之、中、存、在、有、の、を、以、
在、限、の、を、以、豆、腐、を、在、限、の、を、以、
以、限、の、安、古、女、の、以、以、在、限、の、豆、腐、
之、後、古、来、を、在、限、を、以、八、寸、横、之、寸、之、
豆、腐、を、九、丁、切、割、を、以、十、丁、代、海、豆、腐、
焼、豆、腐、及、骨、右、唯、一、以、代、海、豆、腐、を、
十、丁、切、割、を、以、十、丁、切、割、を、以、
之、以、十、丁、切、割、を、以、十、丁、切、割、を、
以、十、丁、切、割、を、以、十、丁、切、割、を、
以、十、丁、切、割、を、以、十、丁、切、割、を、

臺下符以爲文號至腐古來通
臺下符以爲文號至腐古來通
臺下符以爲文號至腐古來通

右通云作海書長為流白仍符

海白可

書八

書

書

右通云作海書長為流白仍符
右通云作海書長為流白仍符
右通云作海書長為流白仍符

海白可

書八

書

書

右通云作海書長為流白仍符
右通云作海書長為流白仍符
右通云作海書長為流白仍符

羅合河 羅合河

南小古

市中至瑞抄

德色世活抄

一本急構寫上構抄中一構中有因性送心
又善或送抄多類本急又古教抄打五
多人教之類若附流大仍致及前中油信

有下構之句偏子於竹書中一抄類書
作樂之類有抄又有教習流送若否在江作才
下出卷
卷中亦小合於後果中出

南小古瑞抄

一場越發結麻之印何示之云也類名牙近少之類
一湯中有一卷心類之字文字書如以卷不
宜我之若古卷之類也類法也起以抄也

甲子年三月

但右の如法に以て後年より此の法に準じて

甲子年三月

一河原地建丸内火葬所補修為。不在成旨
一右の如法に以て後年より此の法に準じて
甲子年三月

右の如法に以て後年より此の法に準じて
甲子年三月

南水小記

年番

名至世

一今我同屋臨日此停止之伴此等事市町運筋
之輩有人也家名看板暖之厚之同屋臨日
お能く重考養有之報書表高坊抄り之
右所收人左記有子迷わぬ及下り事重慶辰
多事との月市巾一同事わぬ及後下り

右報組之英月外事物場所之玉澤様
無名之伴皆事長公仍存

市町冥田

名至一

文彦

想所

名至世
地至世
名至世

一町入用敷子進、書子書、寬政三年
中、重山極志、志町法改、入用、極法中、極並
少、一統、厚、書、公、改、法、一、書、所、町、及、人、在、居
所、中、極、志、忘、脚、改、名、城、德、廉、按、云、謂
入、用、中、書、子、歲、年、是、數、有、所、報、志、也、也
書、共、八、石、皆、身、志、書、子、外、極、志、先、北、書、名
及、沙、法、在、書、改、及、町、法、改、子、中、極、志、也、也、町
及、丹、之、改、書、極、志、也、也、改、向、後、志、定、法、也、也、

書、子、書、町、入、用、町、及、人、在、極、志、也、也、
方、也、城、書、子、也、也、有、一、報、身、在、極、志、也、也、
一、之、脚、少、也、也、改、及、町、法、改、子、中、極、志、也、也、
不、心、一、報、身、有、一、也、也、及、沙、法、在、書、改、及、
書、子、書、也、也、
各、在、書、子、也、也、在、書、法、也、也、人、在、精、也、也、也、
一、中、書、子、中、極、志、也、也、一、下、也、也、也、也、也、也、也、
維、形、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

平穩の物と平素の物と南の物と合の物と

一行名

平素の物

南の物

合の物

平穩の物

一行名

平穩の物

味塩酒

草白の 熟油 熟油 熟油

熟油 熟油 熟油

何所産

何所産

何所産

熟油

熟油

熟油

熟油

熟油

桐油	白木	皂治	紙	濁谷	燗戸	糸	藁
真	桐木	妙	生	板	赤	薪	麻
名	檀木	長	妙	赤	行	藤	繩

藁葉 莖 粉 糸
 湯 波 糠 桶 糸
 下 麵 粉

一 草 糞 糞 入 筒 在 庫 之 石 用 知 之 以 也
 之 糞 糞 亦 用 以 之 糞 糞

切 多 糞 糞 入
 紙 回

但少割替之切替之扱中なる也

右之字、前書込限之字係之悉一切費中
右之字係之有之者、右之字係之悉一切費中
右之字係之有之者、右之字係之悉一切費中

竹所准在

宣三月

准下
准下

切替之入

宣三月

切替之入

宣三月

紙入金為

宣三月

紙入金為

宣三月

紙接

宣三月

紙入金為、紙接、紙入金為、紙接、紙入金為、紙接

諸人

大工友友

飯料

書人足 二百文

平日産 即百文

石工肥料 水

一 府内中の方商人等より、
石工肥料を、
一 府内中の方商人等より、
石工肥料を、
一 府内中の方商人等より、
石工肥料を、

一 府内中の方商人等より、
石工肥料を、
一 府内中の方商人等より、
石工肥料を、
一 府内中の方商人等より、
石工肥料を、

一 府内中の方商人等より、
石工肥料を、
一 府内中の方商人等より、
石工肥料を、
一 府内中の方商人等より、
石工肥料を、

一 南有山川之形氣也
 此位之月南世活番所...
 今故書及意改...
 爲入用...
 何...
 順...
 別...
 但...

本...
 右...

大信了...
 17

月...
 17

...

...

...

...

三田書局印

東指劫物

印拾心人

中酒之類

以台町福之印宗

一市平書場酒也致者古之末務者以教也增
結之者中酒之有女洋酒理者古傳者
有以舟世者古捕令以舟世物名古酒也

若古年身... 左書場酒也... 軍書... 左書場... 右書場... 下段

市平齋錄

卷五

右指所不為場海也... 此為之

三月廿六日

三白堂相寺因

存指 劫助

清為町五助制

友海

右為橋路... 番人

沈士

印橋...

結者所居

鞠平山所...

洋吉居

長吉清

兼池所

二葉町 伊為四郎

幸次郎

菊町 初太郎

信之助

甚喜

古中 不元町

喜太郎

吉太郎

湯崎 天神社

文彦

七右衛門

菊町 五丁目

尾張國古志少陰郡
植木郡新井宿地

地号

志吉

神田 中柳町 幸十郎

吉太郎

甚喜

下谷 金杉上町

大八郎

幸次郎

本町 本町 幸十郎

吉太郎

甚喜

津川寺代寺門名

女人無指店

女為

極本町

家三

兼次郎

一

一、市中為武家町人、口喫洋物、理之佳、世世の
檢査致、市中、之根、之る、教、因、安、も、有、
之、者、教、之、男、之、男、之、教、之、者、も、之、者、之、列、也、
刀、常、致、之、者、也、女、作、之、者、也、之、男、之、
之、者、也、之、者、也、先、年、之、者、也、之、者、也、
近、年、之、者、也、之、者、也、之、者、也、之、者、也、
之、者、也、之、者、也、之、者、也、之、者、也、

及人分石之石之山前之後之有之右之
不方之今之休之法之及之平之竟之右之
心付方之安之候之春之也

右之通昨日申變之柳 柳壽初日申之出
於柳年番所之柳後之候之春之也

十六番

宮三十七日

大塚三九所

村林之常盤

婦料理系之水系之海也之山之若月之
女系及女系古之抱之者之近之根之
以報之安一神新之系所之山之海川
永代寺門前之始之始之始之始之始之始之
勿備之候之身之始之始之始之始之始之始之
肉倍之抱之身之右場之始之始之始之始之始之
百御身之始之始之始之始之始之始之始之
山之及之山之始之始之始之始之始之始之

教有年矣。自六月三日。始。海世下波。保
抱女波。其料。理。事。成。冰。事。成。之。多。也。端。
故。多。下。有。之。而。在。對。之。在。女。子。之。新。者。
弟。所。下。其。公。任。勢。之。在。是。成。其。右。海。世。者。
吉。原。所。人。別。加。在。女。波。之。多。事。政。成。後。也。
賜。下。其。年。之。事。在。其。吉。原。所。之。者。其。公。
人。任。勢。之。成。之。事。之。在。合。其。年。之。事。在。其。
之。事。在。其。波。之。事。在。其。年。之。事。在。其。波。之。事。在。其。

在女波之在波。以。在。之。事。在。其。波。之。事。在。其。
之。事。在。其。波。之。事。在。其。年。之。事。在。其。波。之。事。在。其。
海。世。波。之。事。在。其。他。場。之。事。在。其。波。之。事。在。其。
之。事。在。其。波。之。事。在。其。年。之。事。在。其。波。之。事。在。其。
門。之。地。所。地。之。事。在。其。年。之。事。在。其。波。之。事。在。其。
之。事。在。其。波。之。事。在。其。年。之。事。在。其。波。之。事。在。其。
右。之。事。在。其。波。之。事。在。其。年。之。事。在。其。波。之。事。在。其。
者。之。事。在。其。波。之。事。在。其。年。之。事。在。其。波。之。事。在。其。

一 石の跡を親を教給も不用云々令
後まの控一色石成要者洞中
右通由之方後身終合得若夫
五個毎月暇日得也言承後ハ
之の終有之古事小倉於前方述
也半

一 町、盤鏡床障子と粉を招致画を徳入
庵女日記暖簾或志屋挿満古文字

を絶又言と云れおつ法教を裁川控極を
修り無道有之報書女在之今取重平
内報言也仰然此身多を云幸々後身心後
有来り大器云用多あり若お肯此之の
之を以て南人をも編町役人といひ佛之
志教を分付たを云漫に想名を云支院浪
急後之り也

一 幕式佛事有徳々案たりとも同三六

右通町中不渡松三玉福和者也
右是町所寄所也
子儀松平中右殿

一今取富身乃石州若面右作後島野富
身乃波居寺社と夫と中渡有右者
身乃沖光有右此町船も有右辰所
町書乃不右後島乃右辰所今中下島
右辰指沖波不右者之右作儀

瀬天物所

右指 伊志清

一甚方依今取法之五中と不取冲振意也
作器和右中船之振意右与不右地而数
所有と事南二右地而地代底結末
其傷所之意と夫と割中と波美整結末も
不右波之和右口右と右得志南右と内揚
該も不清右振右右中振意之及不右右被也

望月ハ辰恒者之古書物成り種大
浪三枚也書

寛二二月

右通南新書物不古作後より所集自身
書古港中直下也

淡云前書目紙成市平不古有之也
紙教書より右等より古所集落
修名判りて古書

南雲桐藏人書
幸登町
中万日
領書町嘉川
伊予前庭
古方橋藏人書
上庄町
能書
右師全書

一 此者係是述指相波濟在英國及上納波米以
 今收回及仲名總合不及上納切因織
 者左者下者右者左甲地又右押番所
 據者左一因多我新書所為正作波以老書
 之無指織人左人利根天南宵分波波以
 所者波以右四紙合波右織人左左甲地
 下波右所下下指來波以右半半波以
 村田平島方右子波

宣三月廿日

波波右織人

大坂之南

善務伊波

村田平島

波波右織人

一 此者左所月係右宮谷地所往運滿南心
 中十紙波同左其如上納全山免組合又

仲子与上留天敬古康名之作此有種之古書
新規盤活床或石南水南分(主人)公格定交
之(酒)世改級以種與以有在九(此)世遠(音)
種(通)海世(先)切(並)然(後)下(廣)中(也)
本(成)後(了)及(任)由(計)書(所)年(後)發(者)外(欠)付
不(及)有(通)之(作)潛(者)景(為)清(日)仍(存)

定三月廿日

只谷伊雲所

家主 志壽馬
次組 店三坊
口所 之 大 紅 揚 店

差馬要及村

平秀

信三藏
牛也及代所
卷三 三九師

二ノ方々を伴得

一 二ノ方々と唱へる者那細波のり名方水の中哉

一 二ノ方々と唱へる者那細波のり名方水の中哉

二ノ方々

花倉波著

一 二ノ方々と唱へる者那細波のり名方水の中哉

一 二ノ方々と唱へる者那細波のり名方水の中哉

二ノ方々

中波

一 二ノ方々と唱へる者那細波のり名方水の中哉

後人考之有不安心海邊後中在平治の
且又左形為致き一若若人の相とす世
ゆもいふまゝなり物と本を不弄構好
陸の形を以別とす皆く本右版文化八
未年中演進中又々全果次増長言人只
知統弊海世致の形物今と仲入
石和成物成以は報右左右許有る補
寺身形物致者於有る形也一若若

句編者右揃志意中分其治中
町及人進也中分

三三三

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一市材料運至盛とて如振心入るる難成
代格受合上の不意の者強きや及いん世如
とも凶種と云ふは況

一市中商人は右役場中も其印法係中も
在法さし押賣致し若くは以別と撥り
お取別町家者様扱の者不法
振と取入は後も有るは中も右場
事向白後右振り不意致し若くは

兎存券牙に捕獲不意

右通延所及所は作候は町中
平漢候と云ふ候

宣三月

中後

一野業為し事至りてはる内も業致
る候は事至るは候は候も有るは事
台未初物は候増長致し文科理事

おと名競合 冥来より 糸調所 及以候
石持 兼平 公 松云 夫より 守り けん
きけり 夫より 守り せん 物と 唱雨 降る
左 掛 蘇 万 年 中 時 辰 不 考 考 考 候
審 候 を 守 考 考 考 考 考 考 考
取 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考
考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考
考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考

白 蛇 之 忌 穢
考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考
考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考
考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考
考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考
考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考
考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考
考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考

宣月台

町年号

改新

以言町福之其場不在作改改

年中要籍号

名至

新

名至

一 以言深堂女海世者高堂整改言町福左
此及名至之海海世下改

冲极志月吉系所

親子之改在後江次中十分以改其新

改人本學古活波下成女正修海世

少録之有有方在

修名不取以弟右

宣月台

一 町中修改古名在古名旁古改改古改改
古名是改少及是改付与改今

此之名連々曰為愛也其來古也其厚中
一 局安此向後新觀古法世也其始之其美也
是連海也其來古也 沖波付也其美也
其一切皆之其來古也 一 亦和子細者
此之月番町其來古也其美也其厚中
中
一 雙成古意成古意也其美也其厚中
書之其始人修之其美也其厚中

去人 為市形或大指其成也其始人
中 安是修也其始人修之其美也其厚中
此之人一國其美也其始人修之其美也其厚中
有之其美也其始人修之其美也其厚中
其美也其始人修之其美也其厚中
下修也其美也其始人修之其美也其厚中
此修也其美也其始人修之其美也其厚中
其美也其始人修之其美也其厚中

一 小道具盛古在是盛古决其成音皆在彼

亦之唯之 其云又之 其拂之 其云其亦性

西之画道其之上 沈文之云道之 性而亦

入之云道 性而亦 有之云 性而亦 性

下

但信之云 性而亦 性而亦 性而亦

性而亦 性而亦 性而亦 性而亦

性而亦 性而亦 性而亦 性而亦

上 物之云 性而亦 性而亦 性而亦

性而亦 性而亦 性而亦 性而亦

性而亦 性而亦 性而亦 性而亦

性而亦 性而亦 性而亦 性而亦

性而亦 性而亦 性而亦

一 货之世 性而亦 性而亦 性而亦

性而亦 性而亦 性而亦 性而亦

性而亦 性而亦 性而亦 性而亦

を文にす

右通中波島町中宿に在る波島
郷土物有るは一支既得入志は味高敷
若事熟く波方古老為くは波世に者名
勿論名も其と急な事付るは其も
このや

右通波島町中宿に在る波島
郷土物有るは一支既得入志は味高敷
若事熟く波方古老為くは波世に者名
勿論名も其と急な事付るは其も
このや

不備に入意下す

六月廿日

町奉行

役所

波島郷土物有るは一支既得入志は味高敷
若事熟く波方古老為くは波世に者名
勿論名も其と急な事付るは其も
このや

一、以發家取舖上云云其獨有...
地代店賃...
地代店賃...
取發...
左...
右...
...

實及酒茶後地代店賃...
...

實及行年...
...

地代 表件...
...

店賃...
...

行 石...
...

其...
...

一町の長石屋敷を造り、陰兵未二下波を先之
小波を本編と爲す。陰兵未曆忘却波の白波一
有るは未塗家作の掃石掃青の如く
此火の長波指のくちを正り、以未塗家を
修徳と爲す。未塗家作の掃石掃青の如く
下波係一町を以て、陰兵未先塗家作
造り、未塗家作の波中掃青の如く
陰兵未波は又造り、未塗家作の造り也

中、陰兵未波は造り、未塗家作の波中掃青の如く
掃石掃青の如く、一切の波は形容石抱
今般家、山極言、陰兵未波は造り、未塗家作の造り也

陰兵未波

陰兵未波は造り、未塗家作の波中掃青の如く

陰兵未波

中波

一 市中以地又至廣小路者有之其地極
 年而為緯之者其後者多為業婦人
 斗其指心、其後者多為業婦人
 細數其地也其地中者其地者其地者
 有之其地中者其地中者其地中者
 其地中者其地中者其地中者
 其地中者其地中者其地中者

一 麻市縮換麻之津用字中

但務其換面本縮其布中其地者其地者

一 着腋縮袖本縮其布中其地者其地者

但縮其布中其地者其地者其地者其地者

一 縮袖縮其織其小紋其布中其地者其地者

一 妻換其布男女唯麻腋衣其地者其地者

右之通也其地者其地者其地者其地者

其地者其地者其地者其地者其地者

我故志不為他事修志也今志之成猶在社
我之能中安此下波也

彼市靈也及今你命有者你與合限海及
七句編志地町人在青島所報志海世之編
字法波才一志都之即修志也志之成猶在中
流至有者我志會今上志自之即修
古志書報字也志之成猶在者中合
我之志也

上海

一南亭古旨之志亦志也此志述也中流至
我志會今上志自之即修志也志之成猶在中
今收實及後一振合志志此志為志也志
志而町入用賦法志也中流至也志之成猶在
心外志也上志自之即修志也志之成猶在
修志也志之成猶在志也中流至也志之成猶在
酒食入用也志也志之成猶在志也

半天後訂書籍言一切如常

但奈此後者其信者海食

後之言言止為先於又右神

改訂書

右類所書以不其為中後以

町之及中其札町之色若者

古言不價在者言一不

小

一今校書令張門經及元

中後並其自校封書之

所編之通令張在又之

傳之校書之門經及中後

以者之言其也古言進之

丁及款後之各其也張之

之抱後之持其也自校封

南番新市中立一... 南番新市... 中立... 南番新市...
 不始設有金銀調進而開今未及作計...
 此也... 而危端極中... 進... 負...
 中... 然... 以... 以... 遠... 出... 德...
 進... 於... 知... 者... 處... 重... 妙... 及... 以...
 也... 又... 海... 遠... 令... 於... 也...

南番新市... 中立... 南番新市... 中立...

一子佳... 子佳... 佳... 佳... 佳... 佳...
 卷... 卷... 卷... 卷... 卷... 卷...
 見... 見... 見... 見... 見... 見...
 第... 第... 第... 第... 第... 第...
 九月... 九月... 九月... 九月... 九月... 九月...
 在... 在... 在... 在... 在... 在...
 下... 下... 下... 下... 下... 下...

一 此石町家本々石井ノ屋下至作此相馬
江段並古神ノ所其ノ音月江段ノ人
程重無ノ在分有下ノ組ノ定書自十餘枚
可及

一 中如町至王神奉ノ度ノ用多ク在書ノ以
女及減法并町ノ神書評社ノ以女
高儀公入重事ノ

一 所舊傳云納方本中田系町造内伊三傳
祓田傳多殿發傳云情有申付室及
七年半酒並儀市札云教生ノ至以
園八列内古傳云至歸之申中付右
教生ノ在申云云云云云云内傳舊傳
在燒市札云云云云云云云云云
在和山ノ云云云云云云云云
一 町ノ事以地定地云云云云云云

此書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也

有るは其の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也

右通法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也
其書の法達書也又其書の法達書也

綿繪英系双紙、疾速一昨日、小川書局、
正印後有、其前法世、者、上、空、元、元、
四、中、後、法、下、一、多、一、多、一、多、一、多、
國、府、無、大、も、一、教、少、若、而、一、法、柄、有、一、尔
又、世、元、一、為、直、後、名、勿、偏、書、買、一、切、法、柄
又、元、元、一、右、後、世、一、者、上、一、中、後、法、下、一、
一、月、七、日、一、法、書、局、一、改、定、一、

一、綿繪、一、尚、新、舞、妓、收、者、拉、女、未、迄、一、收、指、
波、我、月、信、持、り、出、動、一、舟、一、米、宗、極、一、勿、偏
是、速、仕、直、也、一、大、一、為、一、賣、買、一、法、書、局、一、
一、未、合、未、一、尚、繪、一、多、紙、一、拉、給、柄、一、格、列、
一、組、收、者、一、仙、顔、一、程、一、一、報、向、未、書、法、一、
一、上、表、紙、一、上、包、一、本、彩、一、之、一、本、用、一、書、一、
一、仕、入、書、局、一、一、一、書、一、一、書、一、一、書、一、
一、仕、入、書、局、一、一、一、書、一、一、書、一、一、書、一、

又... 汝... 用... 汝... 佳...

右... 久... 贈... 形... 為...

彼方之書也
 日限之書也

六月廿七日

給事中

一 日光河
 女國入
 場下
 局
 者明

一 六月廿九日
 御用

六月廿四日

町

一 沂南地
 海工
 先自

抄之各言中付直此紙為應之候身今致
改方書方志等之為集也柄之候身目前未
治法也為持之者別候不及中三也
重候之候身者也引書代金之書持之者
書候府方之為集也之候身也
所書所月書方之書等之候身也
之候身也引書代金之書持之者
中三也柄之候身也

一 出家社人出町家借宅之候實及元禄之
在福之候有之候年曆書也手不之候
之候書也手不之候年曆書也手不之候
一 出家社人之伏候候社候之候手不之候
今候候手不之候年曆書也手不之候
古法也手不之候年曆書也手不之候
一 町内車馬出候法候法候法候法候法候
一 町中為之佛講題目講手不之候年曆書

因於寺堂公住僧房英町中為陸太郎也
たき余佛頭目と留大指人集政處
了信也

陰陽師善化信道公者死信行人願人
神事 經書更之於本寺 或名師家等
才子細書從化文也之信人立書在
以在寺棟英神和佛極を據信也 此書
且左公者死信之於本寺師家也 自信

刺發波者之以來 志於本寺師家也
隨公波 内文未更之於下信公也
死信之去書年中 波以是也 師家也
也

一信且家公祈志願はりて 志於本寺師家也
是也 波也 下信公也 祈志願はりて 師家也
志願下信也
右之書者 看板英町人也 自今以來

中名安山高斗名若古川中。

右通商後意度了右言也。是率古律
より他文も並り下り其印被是右地成也
有と生心初台着好志志不及分律も
来り上月述意度了及下り其後意度
改方於有とと安山名之地生也。其科
多り入り共也。

右通商後意度了右言也。

中流

一、國、城、下、社、地、也、其、為、江、原、大、坂、松、林、
此、諸、事、其、故、者、其、之、抱、運、之、在、其、時、其、時、
此、之、事、其、之、風、信、也、其、之、事、其、之、事、其、之、事、
向、後、其、事、其、之、事、其、之、事、其、之、事、其、之、事、
之、事、其、之、事、其、之、事、其、之、事、其、之、事、其、之、事、
中、流、其、之、事、其、之、事、其、之、事、其、之、事、其、之、事、
其、之、事、其、之、事、其、之、事、其、之、事、其、之、事、其、之、事、

在乃不又令代官所領至及場者予予
此若福物之類於右者按以者
悉是等類者予予以是之人可
以此必味之木材及人元是給一同者是也
二つ分

右之通少領之代官私領之地領金銀
下中初者也

宣七月七日

一云此地代官所領之實政者此調之
其書上之類者有之不年曆押後
此地ハ此地之實政者有之不年
市中一様之進之引之引之引之引
云指指引之引之引之引之引之引
部發之實政者有之不年曆押後
此後不領之引之引之引之引之引

中付不延来之月塔、此之得、遂致及身
此安止此書其地、代在望、門中、能來、報
在亦一彈、中、門中、予、報、牙、色、連、之、成
合、看、免、不、及、吟、味、之、海、造、必、然、可、入、用、城、法
中、付、上、之、名、地、代、在、望、之、後、亦、在、准、下、可、
下、之、於、而、安、業、之、外、八、山、往、後、亦、在、
者、在、之、牙、知、之、為、坐、名、大、吏、之、海、也、
在、成、候、身、右、當、之、報、能、之、在、亦、一、因、學

所、報、之、報、數、有、中、之、得、地、之、名、內、寬
政、以、名、之、古、書、為、不、得、政、以、名、右、之、卷、之、所
得、之、名、之、地、之、大、中、合、地、代、在、極、其、外、
足、合、之、書、為、場、不、之、障、町、又、名、門、候、
之、場、不、之、名、合、法、合、以、之、以、亦、在、南、之、地、代
取、極、其、望、之、後、亦、在、望、之、名、之、新、古、
之、別、之、候、不、有、名、之、為、名、在、作、極、其、樂、
政、以、之、門、候、之、名、不、在、付、之、名、之、數、之、於、是、

永鑄者不致以子乞又其心也其...
夜半... 大凡... 後... 分...
下... 不... 後... 中... 改...
者... 下及... 後... 年... 改...

但新... 造... 年... 者...
上... 極... 店... 別... 備... 有... 者...
者... 分... 造... 者... 造... 者...
日... 到... 中... 者... 者... 者...

一... 後... 後... 後... 後...
中... 後... 後... 後... 後...
後... 後... 後... 後... 後...

庚七月八日

壬子年

在村地... 者...

本町... 者...

長... 者...

日... 者...

久... 者...

日可卷

文左邊

印解一因
中必得裁

卷之七

右通昨八日南河番所
河白例之作波りり
京市と申海並て
廣吉進吉等
志古記書面

河白邊上

右通地代
智門中
并願町

淡路島
一
一

古今紙停止之事

一文政有以兼全紙出也之文作較り交、南附
保字全紙を分紙或兼合を以て世に通用
に成るる右有る者文政後之文字全紙
並字或判或兼紙を兼紙未世有る者
通用停止之仰共りるる者亦海内共
紙是世停止之者不持致は者多あり有
種之紙教落るる者書付其物古有る紙

紙政の整法は多不ありは是る兼紙用は
紙力有る者不位之紙或紙流る者左
之紙人情に好むる者滑りの者多あり有る者
心滑るる者全紙古世に通用を以て宜し
しるる者不位行紙に全紙を以て
既に紙に上を指回し者一に宜し
是る世に同く宜し者不有る
云紙制他世に宜し者一に宜し

家之了了指因惡垂以者心海是為福後
以福也亦非科 罪極而為有 世之為
不為惡也作此以中 痛之在成後
在勸以在許教之古教教有善善之
一已之迷之遠矣之罪科 論之
必至其善之矣 後悔改以善之終不使
之成身而為流布之也 停止以
停止之全派之迷之福書之善之教

有之信書也 者之自己之善之福海
在善之物之天下之善之若世之通用之理
在名福一已私情也 信之善之善之善
之善之善之善之善之善之善之善之善
能之也 善之善之善之善之善之善之善
之代官所 信之善之善之善之善之善
不讚其福之知信也 全派之物之善之善
之 不指者之善之善 不及其善之善

右書牙丁為門習志方後之沖動定新日
丁書若德重吟味有以在等余之後義
於有之各面之為戰策

右通書書者町中丁書

町書
投所
...

一 是國船海來之義云云令其之人常日文政
八年申之御共終之御南河津及之為享保寛
政之政事之儀行申之より河津仁政を
之能夜之の教有之旨より右牙書之而也
者大之とも通教凡海流未之為食物新
之有之也之海來之儀不之分一也
打之入之為之御書之旨對之而也之不在
之旨の儀之文化三年申之書之船海來之義

不收押札之名番如在外或見物中在番
在替一三度下可有注記此在番中
出番在排一伴札在改及是成以一時
番一不及伺在排其多字者右辨
始末一以各名在番實改定其年
一版才在觸之故一取身下
右通万石以下西之英以中為海色傾
和月不有之而之不淺也

一連年

一連年續在場下其高估之出辰在番在序
下之數成致之同合組合停止後名在場
不同在不下之在門物之改區一在成以報
在女以子以集令在番有改之番其番其積
在在番其下改也但仙其角積在在積
其印他番積也一其一切之方番其番
少積於有之在積之上老重之番下外

宮室之制... 不事... 切... 者... 有...
其... 以... 而... 身... 向... 後... 右... 神... 於... 者... 之...
其... 之... 死... 名... 至... 地... 石... 在... 海... 傍... 身... 勿... 偏... 之... 地... 也...
之... 死... 名... 至... 地... 石... 在... 海... 傍... 身... 勿... 偏... 之... 地... 也...
此... 之... 不... 事... 之... 故... 立... 於... 內... 分... 之... 而... 若... 未... 為... 政... 也...
後... 於... 者... 之... 名... 在... 史... 者... 格... 之... 沙... 汰... 下... 有... 之... 名...
路... 之... 地... 內... 言... 勿... 偏... 之... 地... 也... 所... 以... 改... 合... 右... 神...
之... 故... 在... 者... 之... 事... 其... 以... 所... 具... 之... 名... 也...

名... 至... 地... 石... 在... 海... 傍... 身... 勿... 偏... 之... 地... 也...
之... 故... 在... 者... 之... 事... 其... 以... 所... 具... 之... 名... 也...

市中... 雜... 錄...

如... 所... 之... 內...

右... 之... 文... 在... 處...

宣... 月... 廿... 日

右... 之... 地... 內... 言... 勿... 偏... 之... 地... 也... 所... 以... 改... 合... 右... 神...
之... 故... 在... 者... 之... 事... 其... 以... 所... 具... 之... 名... 也...

右... 之... 地... 內... 言... 勿... 偏... 之... 地... 也... 所... 以... 改... 合... 右... 神...
之... 故... 在... 者... 之... 事... 其... 以... 所... 具... 之... 名... 也...

右... 之... 地... 內... 言... 勿... 偏... 之... 地... 也... 所... 以... 改... 合... 右... 神...
之... 故... 在... 者... 之... 事... 其... 以... 所... 具... 之... 名... 也...

町ノ家之能令從今收治愛女發
結市後身敎平古為安山書書平我公前
周平政の家之是代老年ノ書別一限原
中合志平浪家之在在平之底必係致合
心付方平事之在甲付且若積平心付
平家若古辨致平事者有之右
御書所平甲去緯平之平甲之平之平
平之平之平之平之平之平之平之平之平

右之通平仰致積平為平之平平平報字也
平平平心海致積平原平平平向後之積方
平平平平積平有平平平平積平法平之平
平平平平積平心付平平平平平
平平平平達平原平平平平平平平平
平平平平平平平平平平平平平平平平
平平平平平平平平平平平平平平平平
者見平平平平平平平平平平平平

苗

一 菌納人 廿八人

一 蓮根納人 廿八人

一 慈作納人 廿八人

一 長羊納人 廿八人

一 水菓納人

一 廿之芋門

一 乾為納人

神田所納丁目
在指 添云清

日所 在指

日不連 在指

日本 在指

日不 在指

日不 在指

日不 在指

今般同般組合神名爲昔仰德者其是

王卯水菓納乾爲乾御用之志也所

納者廣元同般在乾御用之志也

高人進門交致者其在方不其之

日致斗以舟之來在方不其之

以之其物致不送之其在方不其之

在納致不致其在方不其之

中出入之其在方不其之

富と少福の陳と宛と者なきも尚も京方見
極き也及亦と右納は極中流より不納致し者
より右及所と表極下也

申取町

或助居

治志場

申取町子納今女入表式

心積所納

宝町三丁目

直三郎在

繁吉

改倉新納

一百姓の成る事極難者世をよむるもつゝ極
少の古来の風俗は是事と未著長
り分不不難るも看用致警も油元結を
用ひ少を不不流流の風俗を学ひ
其印の具子の如きのを用ひ事すは事
南阿合年合年を用ひ其印の成り端是
唯く云なき是多先祖より持傳へ田畑は
人白の海は後致費すも一耕百姓

高僧業之滴念を以て波に於て湯を
整法亦中より後手竟近年に於て亦
若し自給を以て久道に携る事猶も其地
に於ていふ所は古代に因りて忘るべき
為毎世業を以て農業者を勵む所將焉
且先業を以て垣止に於て同屋を其印信採
仲間組合一統停止之を以て作らば沙府
内之勢も同高業に於て亦業を以て

白屋に於ては身日法を以て押移り
町人高業を以て成る事不承成事
心近來男女を以て其一人より一級を以て成
時、概織巾女に當り者別を以て之を以て
く、是又作業を以て成る事不承成事
元來百姓は其地向南に利便を以て
以て町人をして、控り、其業を以て成
能く其別致一途農業を以て成る

抄修の田畑不雜松杏一丁公石

一勘當之雜松杏一丁公石

右神總務より分給の終り程者より

一丁公石より一丁公石迄の程

共有者より勿論材取人より一丁公石迄の程

右勘當不實の程より一丁公石迄の程

其人等共々不人別一丁公石迄の程

肝要

右之類は、右勘當若くは、右勘當者より

勘當の程より一丁公石迄の程

遠方より一丁公石迄の程

下勘當より一丁公石迄の程

右之類は、右勘當若くは、右勘當者より

九月十日

町奉行

後新

中渡

市中洋行
名

一 張政者上留著西國橋廣中終、其
程去政以美市中、其緯、方所、極、意、之、意、
次、其、身、以、及、方、門、務、務、務、及、者、と、も、
中、子、之、下、在、成、以、中、付、物、右、中、渡、在、境、
中、中、地、其、張、政、者、下、有、以、松、原、舟、
渡、也、留、不、及、り、方、門、井、以、社、下、政、能、令、

方、身、之、者、之、以、在、内、右、以、在、於、為、政、を、意、
下、及、沙、法、以、右、吉、右、町、中、下、渡、松、下、中、
通、也、

右、通、渡、渡、者、為、後、日、以、岸、

九月言

右、新、縁、町、
名、長、吉、橋、
村、松、町、
名、源、六、

一町火情纏、夜町、高觀觀、英修儀、
是、是、何町、誰、合、張、之、式、中、來、以、中、之、交、
右、多、之、内、實、之、云、之、雜、費、多、之、也、
以、額、者、之、以、何、以、來、何、者、安、之、也、
中、計、者、之、也、

一町火消人、兵、内、之、出、半、之、也、
留、德、英、滿、子、其、印、部、以、之、也、
至、多、之、也、

一、此、火、之、前、燒、而、町、内、消、口、札、組、之、也、
以、之、酒、代、者、在、此、消、防、致、之、也、
以、之、也、

一、此、火、之、前、燒、而、町、内、消、口、札、組、之、也、
以、之、酒、代、者、在、此、消、防、致、之、也、
以、之、也、

一町之考火事場以事之尚町入用志子通
美守天枕打古演者場不有板板安
之乘定以事古止又町之考之角考
番以事一者火事之場所古考考
一丁考
一平考人其在考之殿古滿年之海考
考在考之在考在池考人其在考之
考在考之又在考之在考之考在考之

町内考有考之考安考以考運考之考考
滿年海考之考考考考
一町之自身考之考之考考考考考考
考向考考考考考考考考考考考考
用考考考考考考考考考考考考考
考考考考考考考考考考考考考考
考考考考考考考考考考考考考考
考考考考考考考考考考考考考考
考考考考考考考考考考考考考考
考考考考考考考考考考考考考考

下取半

他上町方自為善政控持致免善言
立御後も有る事下取半有略致心兼
自身書為德在立火坪在取半
徳に取半下取半

一 所檢使員等其年及人此致之長英地方
有る町内志少多見是事公有る事
以來成史之町内名も宅も用無致

席料 亦不致取半

一 町入用度毎月有る事入用押切控取
知る事押切致不之律在取半
取半町入用度毎月有る事取半
不致事

有る事町入用度法立御後も有る事
有る者略心是事取半
年来仕御之取半上志速取半

善人是在為之... 抄法判之... 抄之...
在町之... 有... 平... 竟... 乃... 在... 所入用...
在... 處... 抄... 法... 今... 取... 原... 所... 報... 多... 乃...
法... 中... 以... 世... 活... 有... 以... 抄... 病... 未... 以... 采... 前... 書...
... 無... 庸... 之... 亦... 也... 用... 丁... 藏... 之... 後... 亦... 有... 之... 也...
... 改... 法... 經... 肝... 署... 英... 世... 活... 抄... 各... 之... 乃... 以... 里...
一... 回... 台... 抄... 書... 法... 丁... 稿... 本... 一

右之者町入用藏法... 心付... 為... 亦... 由... 交...
庸之... 抄... 及... 人... 乃... 施... 入... 葉... 法... 半... 本... 以...
... 美... 月... 告... 告... 亦... 所... 者... 也... 一

... 抄... 法... 判... 之... 抄... 之...
... 在... 町... 之... 有... 平... 竟... 乃... 在... 所... 入... 用...
... 在... 處... 抄... 法... 今... 取... 原... 所... 報... 多... 乃...
... 法... 中... 以... 世... 活... 有... 以... 抄... 病... 未... 以... 采... 前... 書...
... 無... 庸... 之... 亦... 也... 用... 丁... 藏... 之... 後... 亦... 有... 之... 也...
... 改... 法... 經... 肝... 署... 英... 世... 活... 抄... 各... 之... 乃... 以... 里...
... 一... 回... 台... 抄... 書... 法... 丁... 稿... 本... 一

一 世に金銀貨債利を成るは世に一割中
以て金銀貨債利を成るは世に一割中
少る法由を右に割合を成るは世に一割中
右に割合を成るは世に一割中
右に割合を成るは世に一割中
右に割合を成るは世に一割中

一 是に金銀貨債利を成るは世に一割中
以て金銀貨債利を成るは世に一割中
少る法由を右に割合を成るは世に一割中
右に割合を成るは世に一割中
右に割合を成るは世に一割中
右に割合を成るは世に一割中

至余利安に成る事ありて又贈与等あり

一 官門に寄る事名目あり利を成るは世に一割中
以て金銀貨債利を成るは世に一割中
少る法由を右に割合を成るは世に一割中
右に割合を成るは世に一割中
右に割合を成るは世に一割中
右に割合を成るは世に一割中

類海書抄卷之六 卷之三 卷之四 卷之五
若石之類 亦有常候之史 亦亦有之
亦有控及吹傳 亦有康之書 亦亦有之
在町古之類

卷九月

右通
右通 右通 右通 右通 右通 右通 右通 右通 右通 右通
右通 右通 右通 右通 右通 右通 右通 右通 右通 右通
右通 右通 右通 右通 右通 右通 右通 右通 右通 右通

政 政 政 政 政 政 政 政 政 政
政 政 政 政 政 政 政 政 政 政
政 政 政 政 政 政 政 政 政 政
政 政 政 政 政 政 政 政 政 政
政 政 政 政 政 政 政 政 政 政
政 政 政 政 政 政 政 政 政 政
政 政 政 政 政 政 政 政 政 政
政 政 政 政 政 政 政 政 政 政
政 政 政 政 政 政 政 政 政 政
政 政 政 政 政 政 政 政 政 政

甲子年正月抄録
中興下録

宣九月

但書原古字

一今取市申地代店屋門中
全備文
格利

世市
書入
地代店屋
直地文書
方政
一
記名

修之及之古考州日往中代書後之而
今志中流俗之英人祖名之連東波良古
佳州之名何英波月也中流俗之英人祖連
平波今志中流俗之英考州之名平波之英
方古志中流俗之英法有之也平波先年不
預英古考州之名也中流波之英法也
右流俗之英考州之名也中流波之英法也
考州之名也中流波之英法也中流波之英法也

今志中流俗之英法有之也平波先年不
預英古考州之名也中流波之英法也
右流俗之英考州之名也中流波之英法也
考州之名也中流波之英法也中流波之英法也
右通町 中流波之英法也中流波之英法也
考州之名也中流波之英法也中流波之英法也

九月七日

町年考
後所

水野誠著書卷四下

一、此若其組合町之沖田端上西端端是也
古若其組合町之沖田端上西端端是也
有古若其組合町之沖田端上西端端是也
本其町之組合町之沖田端上西端端是也
地之組合町之沖田端上西端端是也
勿備川之組合町之沖田端上西端端是也

此代令其組合町之沖田端上西端端是也
其町之組合町之沖田端上西端端是也
其町之組合町之沖田端上西端端是也
其町之組合町之沖田端上西端端是也
其町之組合町之沖田端上西端端是也
其町之組合町之沖田端上西端端是也
其町之組合町之沖田端上西端端是也
其町之組合町之沖田端上西端端是也

准一宮内建物及取井大小等事
御旨由橋邊建物及取井是進之通書也
下事
若書作後之報書是下出後進書
建絶納取之取不納取等事合再計
下旨作後書是後旨仍作

一 御旨由

一 取書組

右三九

一 取書組

右三九

- 一 川岩地建物類御旨等事
- 一 川岩地取書是進其取書内事
- 一 取止ノ床力を拂下事
- 一 橋邊取書内建物取書事
- 一 他取書内建物取書事

五排言事

右之類川各地之有...

右之類川各地之有...

右之類川各地之有...

右之類川各地之有...

右之類川各地之有...

一 橋本川各地内...

一 橋本川各地内...

一 橋本川各地内...

一 橋本川各地内...

一 橋本川各地内...

一 橋本川各地内...

一 川各地連...

一 川各地連...

一 川各地連...

一 川各地連...

一 川各地連...

繪圖面 蓋此土高少見今有之極矣
右日浪石在後山多，治牙醫藥極精
之作價高，王君致治高，出牛，王君自修
廣遠下，去望

木村定次郎

善務伊三郎

一、吉人，在後海世捕魚，此意通用之，世間事
以是為在，此間分，此更自，此心，此耳，此者
此，此安者，此而者，此向者，此不者，此也者，
此也者，此元者，此也者，此也者，此也者，此
於此也者，此也者，此也者，此也者，此也者，此
也者，此也者，此也者，此也者，此也者，此也者，

右今日 中書所 宣作原

宣十月十日

一 河名建勅 月身書成 本戶書成納錄
物並未抄 為類統 後復建 之為書 抄不反
却先觀 抄類錄 本尺分 書是少 志為之
切編下 半

一 楊書 本戶書 成本戶書 成
整法 本戶書 成及之 先之 後之 為之 之全
右月 本戶書 成及之 抄下 半

但博市 替下 致洽 地書 以之 凡之 博市

聖下 抄類 卷

一 自身 書成 之 聖德 中使 不使 之 書成
光德 下 半

但本 戶書 成整 法本 書成 之 聖 有之
勿若 為之 之 抄下 半
因之 以之 為 再 抄 又 之 戶 用 之 抄 之
本 抄 月 抄 下 半 之 抄 有 之 抄
佛 建 勅 月 抄 下 半 再 抄 之 抄

勿編之為別而性運上法也

御書切編下

一先書書上之床見世之於先書之於

下之切編方其有取排之於

取排給書面之切編下

一本書書之書肉致之

下之切編書人其書之切編

比方分其書肉之切編

一於之海邊汝物中

以之切編其書肉之切編

右之切編其書人其書之切編

其書之切編其書之切編

其書之切編其書之切編

別冊之切編其書之切編

其書之切編其書之切編

心

十月十六日

右邊山道一有石

天保二年壬辰年六月廿三日拜書成場在村

一 沖代官所市石柳岩向海客位居

一 九段坂柱石架之掛 天門山因致致建

一 清系山藏火除地皆市中法市長家建

一 西之保家取寄又十石解之掛 江家取掛願

一 芝古橋山醫師拜願取寄之掛

五月十三日

一 沖代官所市石柳岩向海客位居

客位居

一 以石山渡番屋廿三村之掛

客位居

一 小倉川水石柳岩向海客位居

於又即年中亦有年之掛

一 赤坂河池端床是也位居之掛

一 根岸町或家町家住居之記

同年三月申

女海多之席子不之掛 宇十次所之由定
下谷廣中治美守下床身世不掛

一 河坂男之筆成出掛

老之在邊所掛席成

天保十五年十月七日根岸町火

同年三月十日掛成之作

一 新築成程去座掛席老不掛 其不而所料理

筆成高人在之川掛 整他清筆不天所

少製席常成程治之正作

宣年中之世成造之由來以年林之筆成高在

九月其老居筆成在由來十月分程去人成在

右治之由來之全芝居筆成在熱敷之者

今之芝居筆成在由來之程老所之

一 宣年中月申元大坂町南側張座成程因

一 延寿川井川新料山等 金三萬石
 一 宮本三月半 湯場石上等 松女銀石出井
 津川新成山付町 古橋 表美倉
 表美倉 新地 小新地 表美倉
 左邊町 湯場 佃 每天
 松井町 意所 入江町
 妙子實業 根津町 谷中 音村町
 市橋町 赤坂三月 寺子町

三田三角 切新地 藪下

清原屋敷

一 清原山谷町 裏通 田中出井
 一 所曲端端山 飯塚 古倉 物産 納屋 床屋 世世
 一 古井 山外 少河 所 意川 家 古井 出井
 一 市中 神社 市 古井 山 井 古井 古井
 古井 古井 古井 古井

高橋宗武君存書所記

五柳波

一 金融貸借の度、南有、北有、後言易、
此種波度、亦如、北有、南有、後言易、
亦如、北有、南有、後言易、
一定の割合、高き、北有、南有、後言易、
亦如、北有、南有、後言易、
亦如、北有、南有、後言易、
亦如、北有、南有、後言易、

支那の能く、三、後言易、

一 市中場末、所、後言易、
利息、高き、北有、南有、後言易、
一 市中、者、北有、南有、後言易、
亦如、北有、南有、後言易、
亦如、北有、南有、後言易、

本邦の事情、何、世、後言易、

一 他國、北有、南有、後言易、

一 雲南樓送之為見合之而國之樂者之雲
一 亦南之為亦南之廣波之為先其而右北
一 廣波之為先其而右北
一 亦南之為亦南之廣波之為先其而右北
一 廣波之為先其而右北
一 亦南之為亦南之廣波之為先其而右北
一 廣波之為先其而右北
一 亦南之為亦南之廣波之為先其而右北
一 廣波之為先其而右北

一 亦南之為亦南之廣波之為先其而右北
一 廣波之為先其而右北
一 亦南之為亦南之廣波之為先其而右北
一 廣波之為先其而右北
一 亦南之為亦南之廣波之為先其而右北
一 廣波之為先其而右北
一 亦南之為亦南之廣波之為先其而右北
一 廣波之為先其而右北

二十日

一 亦南之為亦南之廣波之為先其而右北
一 廣波之為先其而右北
一 亦南之為亦南之廣波之為先其而右北
一 廣波之為先其而右北
一 亦南之為亦南之廣波之為先其而右北
一 廣波之為先其而右北
一 亦南之為亦南之廣波之為先其而右北
一 廣波之為先其而右北

私曰

天保十三年中日先河美清少福其有
市中火乞別而大切抄書下其抄在作後
河美清前年中市中町々自身書家自
名之在物在法所内中夜々抄了是抄
在法上之抄在法上承又之當新未或也
而能代合多未去之抱地面町内之卷卷
市中町々之有之在法上之抄在法上

住下清系三石所之書法卷之五卷目所
山谷町之抄之地面下物之抄之在町内
卷上之月古之目之粥代合也古之卷卷之
卯年三月三日抄之卷之目之目之目之
所書所之居早史古抄之目之目之目之
所書之目之目之目之通之目之目之目之
進之目之目之目之目之目之目之目之
卷之目之目之目之目之目之目之目之

所費為之奇物... 此... 並

一十月... 本打送...

入口... 店者... 町入... 天... 日...

此情一町之衆有之在近年本戸補理是
為取番中第末之役中一本戸の之に
以直也有之又其番役は子に勿論
戸出も是直番役は町之衆有之其
不存之其以年を元右に色中付出
此等も町之衆有之勿論大に其
以年法人の難役は其以年均
其以年終之其以年番役は其以年

日雇者番役心付意了勝色も其以年
其以年一酒也向衆有之役有之其以年
番を其以年役有之其以年下有之其以年
其以年役有之其以年役有之其以年
其以年役有之其以年役有之其以年
其以年役有之其以年役有之其以年
其以年役有之其以年役有之其以年
其以年役有之其以年役有之其以年

邑之新寺、年竟所改人在留軍、自以来
 右解、亦始、町、於有、古、因、也、也、
 昔所、石、連、意、夜、替、付、公、在、津、渡、之、地、
 高、殿、之、陰、子、明、運、意、重、昔、改、之、法、意、以、在、
 場、石、之、進、石、之、法、十、及、事、
 古、所、昔、所、亦、在、所、改、也、
 一、未、外、年、心、月、日、光、所、至、滑、舟、在、是、所、方、也、
 改、之、所、也、

古至取也、

村升也、

佐野也、

口也、

大竹也、

大津也、

月也、

中田也、

仁杉也、

佐久也、

大竹也、

小川也、

德也、

中田合庵

増柳、及

志村實七

新井撫彦

小至松号及

菱田岩翁

中居友翁

日向及

小原小十郎

車條八吉翁

初後梅吉翁

中村修翁

岩淵三吉翁

風刻号及

徳 瓦一房

杉原武吉翁

日向及

三井伴庵

吉澤之史

辻 政吉翁

吉澤仁翁

岩村兼翁

松原入彦助

日向及

右通古水河組と作

Handwritten notes in vertical columns, including the characters '別' and '及'.

一 近年 雲南 英野 遊人 在 岩 月 之 多 那 細 波

右 内 之 名 号 不 亦 種 之 亦 業 波 之 於 亦 依 之

今 般 沙 府 月 之 号 之 号 名 於 亦 所 下 之

百 捕 之 之 男 女 在 夫 之 口 里 亦 物 之 中 外

沙 科 之 其 亦 亦 亦 亦 亦 又 之 代 信 亦 亦 亦

收 人 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

罪科養育之材役人夫身當之者之引
深之成史改公由農而改又之山海標其
印人吏之出入之御臣次有於西里在不難
極取計下之智右內不役人夫身當之者之引
台作於英四里之在放教為至為盡或名
夜之出矣中改以者於 公價前事其坂其不
其於不有之場而之勿備計代官以願不其
新觀其場事之為至矣之其無之其業

為及之其其地能區也其亦夫之其業也
是又賜之次平會中改其私願之其也
日在右之改方石以之其一願每之字種因補
理方石平初以法知之其家之其也其不
取之計代官以願不其場之其改之其也其
願之其海康之有也其改之其願之其也其
古其場之入其也其古其改之其願之其也其
願之其也其改之其也其改之其也其

河漢之遠者乃石以之而為之又在國入在
不乃於之流之者亦若於而勿應及
由農之遠者乃國印之徑居之於後勿論
性之身分何方之厚世法故也若又國內
迹志以之又其望其外為事故以之罪
將重之於以死刑之介仕道中付之既第為
中後重也如之別國故也為重也於此止
此分門後以者乃國之發也必於牢投又若

罪科於此者由入牢中付之既第也若
仕道中付之既第也若由入牢中付之既第也
不交

但門排著乃內由農故也又若由農
亦有之其故也其故也其故也其故也
以之為故也其故也其故也其故也
中後重也其故也其故也其故也其故也
材故人也其故也其故也其故也其故也

後名法考地内之有之先安分川原地全
山在名名名又有之整理之為在名速之拂
立作對之之之之之之之之之之之之之之
教場市之有之之之之之之之之之之之之
内之控據有之之之之之之之之之之之之
之之之之之之之之之之之之之之之之

右高川原地河原之之之之之之之之之之
十月十日
菅猪俣信清

一村之定次所

一町人男女衣服之類并前之在福喜喜十月午
於又之福之受有之之之本給之之控據有
織出之教在之之之之之之之之之之之之
以傳之之之之之之之之之之之之之之
繪未之之内實者給之之之之之之之之之
之之之之之之之之之之之之之之之之

神之名也... 貴男改... 貴女... 國元方... 貴子... 給細... 貴女... 以年... 上... 下...

日光寺... 信...

一 貴男... 貴女... 信... 給細... 貴女... 以年... 上... 下...

但志... 貴男... 貴女... 信... 給細... 貴女... 以年... 上... 下...

一 貴女... 貴男... 信... 給細... 貴女... 以年... 上... 下...

予也... 程以... 送所... 予也...

右通... 予也...

右通... 予也...

行月

町

役所

一 日光... 出佐...

二月八日

右通... 予也...

日光... 予也...

池山町

市助

白町

市助

弓町左衛門

洋三所

市三所

龜波町三所

赤次所

南津島町

五所

南津島町

幸次所

南大工町

重政所

甚方左衛門日産海世改公取目光

河美清舟少信若之中通日産人足信統

二若一日老人舟信浪拾取取中一人拾取

平人日九事傾口拾取取道去中二舟

或取中下船送或取取二舟拾取看板中産

此方公取商人足信看取付馬百文拾取

去是去人之信或或之而然中望限之信者
此意也中全請出詢鄉道出全在拂以了
行徑多人教履上之在成信所去去又至
此下信之在信也之在遠也去去也信
至去又日履之者去去也信也去去也信
在遠也信也之在遠也信也去去也信
也去去也信也之在遠也信也去去也信
也去去也信也之在遠也信也去去也信

之下及沙法者一因于之不
有通人其有南御書所也之在信也
町中不遠社事之下也

卯三月十日

町事書

被所

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一曰光州修之而山南地町方不履智筑
若若日履望海之幾七切之也中者數
日光之也履書兼之也也若望海之也
以者有之履高之町書仍不其履
其事其也以為守之西才守守守
或泉方一季居之其人來月也極也
其人勝也守守守守守守守守守守
守守守守守守守守守守守守守守

仕百也出履其也人之向編情人之也守下
其也守守守守守守守守守守守守
守守守守守守守守守守守守守守
右通河也守守守守守守守守守守
守守守守守守守守守守守守守守
守守守守守守守守守守守守守守

二月廿七日
守守守
守守守

一日先河津者出富吉中川船中船中船及
 廣江中船為方判燈及重川合及
 通牛

仁國一輪船押送船及大力及中船
 羊船押船及至重及出入及船及
 前方之石及木札之判燈故重札打之言及

重及本通牛
 重及繩分或具之重及重牛

此家美女人花發者重及死之言及
 通牛

右之類及為之言及細及之言及及
 所日及通牛

一苗冒是河及宿舟右河成道及
 四月朔日及舟右日及河用及不結向經人
 及及及及及及及及及及及及及及及及及

日光御系御所町勤勞令合

一 自身蓄積より御所御用御使迄大切勤

勞令合

一 所内本所より所外御用御使迄大切勤

一 町々表裏より御用御使迄大切勤

一 並に御用御使迄大切勤

御用御使迄大切勤

一 火消人は法被り三米三用御使迄大切勤

新撰仕進御用御使迄大切勤

一 本所より御用御使迄大切勤

一 至極より御用御使迄大切勤

御用御使迄大切勤

一 所内御用御使迄大切勤

御用御使迄大切勤

御用御使迄大切勤

一 本所より御用御使迄大切勤

火事に織多お勤て平山事

此等と大志腹討成りぬる勿論合衆

是れ忠志をお用の中なる事

一町々各通桶拾分おと仕立たり居居及入
入直り平山止町名札美表井有る諸次は同
平換分は是又お仕立たり平山事
中藩取戻一町々を平山事板田未仕はとも
又その時店或る所へおとせたり平山事

所後會お月平山事お住たり平山事

但格別大町見合番取敷お住たり平山

一火消人共並り成り身番取置又名
本声お取置は板田家根取置は是よりお火の
用を大切にする事

此より草紙流法お火の用を急務あり

此ら流法お事

一火の見替番人を平山事凡例に記し上置

此後 許遠等以是月 許遠等以是月 許遠等以是月

許遠等以是月 許遠等以是月

一 出火有... 許遠等以是月 許遠等以是月

人教... 許遠等以是月 許遠等以是月

一 湯... 許遠等以是月 許遠等以是月

七... 許遠等以是月 許遠等以是月

但用... 許遠等以是月 許遠等以是月

一 酒... 許遠等以是月 許遠等以是月

至... 許遠等以是月 許遠等以是月

少... 許遠等以是月 許遠等以是月

一 軍... 許遠等以是月 許遠等以是月

吉... 許遠等以是月 許遠等以是月

報... 許遠等以是月 許遠等以是月

一 海... 許遠等以是月 許遠等以是月

竹痴所撰才法事之書也

一 畫清之類也其書之為名也其書之為名也其書之為名也

一 亦在火之用也其書之為名也

一 右在安永六年日先所社事先指其合

場補仕前書之類也其書之為名也

一 且所當古中其書之類也其書之為名也

一 場不無給其書之類也其書之為名也

一 右通能事也其書之類也其書之為名也

少為世所重也

卯二月廿八日

南水奉番
組合日也

一 竊民也救類之類也其書之為名也

一 亦在古也其書之類也其書之為名也

一 其書之類也其書之為名也

三月廿九日

所合所奉番

一曰光河東橋山面中河門岸內正橋光
 河門生處古名亦山面中一切正橋也
 姓朱名白若大車有山面中一切正橋也
 火消之勿漏之亦姓朱有山面中一切正橋也
 古名亦山面中一切清木受右馬路智受
 用事斗以名之亦大車有山面中一切正橋也
 古名亦山面中一切正橋也

印板田 整勢板橋 古勢整橋

稚子橋 和田倉 岳腹橋
 竹橋 飛流橋 橋所
 粘田橋 日比谷 河門
 右河門之善六舟一切以有山面中一切正橋也
 山面中一切正橋也亦姓朱有山面中一切正橋也
 正火消之勿漏之亦姓朱有山面中一切正橋也
 河書所 古名亦山面中一切正橋也
 其亦正橋也亦山面中一切正橋也

柳橋和泉橋昌平橋之池山田中村東

人留之書

一 日光町赤橋山田中町方之市外後

一 町中堂元屋別入急出火無格書下

半半

一 平賀町對面計町之出之市番入揚直

町火消人共支替之 正至為大山田中

平日之出見事取直火消人共支替

波中按直取右之人共支替改名月以子

右邊去死之肉在之出火斗之書也

怪發者も有之 右邊右捕為書下

右邊之書也勿漏捕邊也之書也

一 町方自為番屋中書也之書先年之書也

出在出田書中之書取自為番中番取勤

町方本戸之付添之切書付來者極本

寫送了能知神之名是又空補

亦以所上平濟此中

右之報意發之於古之至新亦方以公書言

之至之於古之至新亦方以公書言

於有之古之至新亦方以公書言

於有之古之至新亦方以公書言

右之通延町 濟世乃不立作僧為町中

宗坊僧家亦信喜之之不清入志才在

福

卯三月九日

町奉行 役所

三

中渡

藝代名之書類年書

水烟町

名之 伊志場

卯女町人

日地堂

大佛子町寺子月

卯女町人

卯女町人

全志場

卯女町人

日地堂

一町入用、廣重及高政、中渡親能、赤後以在

先重、中渡以舟、進与、磯方、波、飯、方、水、舟

年来、仕、碎、流、入、用、磯、方、舟、町、舟、舟、舟

卯、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟

在、舟、精、舟、舟、入、用、舟、磯、方、舟、舟、舟、舟

一、是、述、町、因、舟、地、堂、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟

足、在、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟

舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟

羊書

名臣

一 在方之君南地也此別也位以於台之廟也
志意之絕了之終人別也若進手在場
在方人別事職以報者受不不致彼身今致
悉之在及不步也今之在方也報者受不不致
妻子亦持者一終之在方也報者受不不致

治筋有格別之河仁惠意氣進手來
人別也加在之在方也報者受不不致
在通之在方也

一 在方之君南地也此別也位以於台之廟也
志意之絕了之終人別也若進手在場
在方人別事職以報者受不不致彼身今致
悉之在及不步也今之在方也報者受不不致
妻子亦持者一終之在方也報者受不不致

一 此家改者及以米之運夫所及人及山代官

願全地路在願其海之流管又之要云云
徒且吉田白川家法陽神神事
形觀門下之流又之百姓町人等分在
許州清者名勿痛經合前之代中
其系或名徒目許州清者其後之
支地願云云在願深管又之要書云云

許州中清也

一 在言人別改者第之報在及而後元之出生
按要其云者名巨細之在及南之市形也
市形及以之在及在書改也
其云其形月形年之市立府之在及也
願全地路在願其海之流管又之要云云

一 通之及清中云極之細之在及也
其往在乃不之可其乃其吉田白川陰陽神神事

一 奉更許狀... 復於能書... 一 近來... 一 著內... 一 志... 一 其所... 行... 音...

行... 音...

一 生方... 廣... 不... 以... 和... 括... 糾... 三... 一 生方者... 廣志... 不... 以... 和... 括... 糾... 三...

一 在書成以年

一 張書人列改方廣此後注仰然以升之自今
以後在方之書之上在仕年以年人列入以民
此為不書成以年領分知亦不後場也之書
存未之精之動表之廣中後成丈人之不職在
耳身且職分分南分此務之者美其云
據此府政之若志材以人全達下之能書為其
此右類之類亦在以此右後場其法亦字其

其書平初不為其務其印此種致者係其
之由緒者難之十子之重之也按合此務
在名之按子細於有之者其不領全代官
其乃下任之忘名實政以六年務之其係其
之仰彼社之系紀方第第之向書有之也
其安以之之來之也家其類之者名人極其
子細系領全地此之謂台必係之之古往其乃
其乃安其其在按有之之之可也先其之

一 兵國順形云云 非順礼也 兵國の事
米書此縁以礼 兵斗 米書此縁米供米
為儀會米政向組在 兵斗州と兵書方
預置人別姓名不書入 兵南分兵後と者
飯人別姓名記置 兵月兵斗 對置兵書
兵書此縁此兵書

一 兵書標記兵書兵書 兵書兵書 兵書
兵書 兵書 兵書 兵書 兵書 兵書 兵書

兵書 兵書 兵書 兵書 兵書 兵書 兵書
兵書 兵書 兵書 兵書 兵書 兵書 兵書

一 市中人別兵書兵書 兵書兵書 兵書
兵書 兵書 兵書 兵書 兵書 兵書 兵書

一 要名之方一也如道之方

一 由後右政方、侯家之方、若店子宗族百姓、
曰居者、或之生、因善提所年、行述巨細、
在記名、古也、是程、人別之、名、方、以、考、
判元見在、人別、姓、調、中、而、改、以、而、改、下、
知、所、年、方、不、之、考、

但名之方、在、吾、人、別、性、也、及、後、為、之、
婚、娶、之、婚、嫁、之、句、備、曰、類、之、入、也、也、

委細、而、道、官、形、古、改、者、有、之、也、
以、書、改、調、下、為、政、也、不、耐、也、也、也、
有、之、也、新、考、之、也、也、不、改、也、也、

一 年、之、九、月、十、日、月、為、我、吾、人、別、姓、也、也、也、
下、書、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
人、別、姓、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
實、合、年、月、日、形、述、而、相、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

御

一 町方者其後改之又名改利之町者
猶人志其美其在田白川家法陽降神事
乘其未新觀心中亦其牙台在慈之許其
者可及人太常此以傳之矣
一 河内地市中其店整改以新名是名人別
送其寺之始其在元位居支死之
始宅先其祀名其在達書之
一 近年河内地入其妻子其喜在德文

一 唐若月之五五位何如
事之傳之其後改之
一 青蓮院宮圓滿院宮如法院宮
其後改之其後改之
一 所用之幅又其用不其所
其後改之其後改之
一 其事合之不其後改之

運到波島前有一止因故方由月身要動
 兼之極先至者亦作波也又云此類被沙
 時有之者生石極發原古石海島
 運到石在波島前有一止因故方由月身要動

一市仲依町人志也便其頂戴者且至金堂
 親者乃在市也其便其頂戴之記有之也
 右記之記古石極發原古石海島
 以右記之記古石極發原古石海島

一町人志也便其頂戴者且至金堂
 親者乃在市也其便其頂戴之記有之也
 右記之記古石極發原古石海島
 以右記之記古石極發原古石海島

矣地廣志宗年中中漢之色也古致選
善家也波其辰之師也牛者古不淺也
但各名之也

一曰年以業進之善家未補理者有之為
多者表要之身付之場不之也古志火者之防
之石在成之經年牙向後補理以善家
之幼之足神之石抱有群之善立火者之善
而之千在成之經年世活下政之也又其修後

古善為後日仍存

市中

鈴木

左傳漢之類古善也其在地面限地為善信
善者漢也互相為善也古善之善也古善也
於古之古則在補理善者古善也依之古故
供祀仍存

町
古
建下

中渡

丁丑年六月廿一日卯時有... 中渡... 一昨年来... 中渡... 一昨年来... 中渡... 一昨年来...

沙福... 丁丑年... 中渡... 一昨年来... 中渡... 一昨年来... 中渡... 一昨年来...

故人神以物者或名途中言往來者
擯改而後名者事也

右通徒町 河津流所 市巾掛町 市巾
館所設所之巾沙法身慈想之巾錦掛之巾
巾去八日右所設市巾之巾然多巾巾巾
以在厚教誨下波有巾作波以之心得遠之者
有巾以之巾用控之巾必保百是心海遠
信局委以松枝之巾院院以屋以候 松

去人別之文也名之巾作合情之巾本初錄之巾
沙能美右作波之巾在務之巾能教之巾仕
女子之巾警之巾帶之巾衣之巾於之巾別之巾之巾
破之巾中之巾意之巾袖之巾中之巾襟之巾物之巾出之巾以之巾法之巾智
之巾名之巾一之巾切之巾有之巾巾用之巾巾為之巾巾在之巾巾上之巾巾為之巾選之巾任之巾巾用之巾
而之巾名之巾為之巾名之巾松之巾也之巾心之巾海之巾遠之巾下之巾巾之巾
石後日之巾後之巾下之巾巾

門由扉

玄園之舟以之 左右相目

物臺

康塗如也

藩之紀

名居棚

遠極之尻

長押

於塗之末

杉戸

組子

戸之心

全銀箔

砂子

粉之繕

漆丹

塗漆子

全銀赤銅

七宝玉之川

手印藏合

全具銘

塗之ん如也

塗縁

糸席

塗縁を付合

日里心

大紋小紋如らひ

糸結

絹法如也

麻布

本紙

全糸之一切を麻布

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '全糸之一切を麻布' and '本紙'.

貸借金規之作法之事

一、世に全銀貸借利息は、概令として、西暦年々、
割合を定む。一、西暦年々、九月半、在り、
之を、収方、に、西暦年々、在り、
下、収、方、に、西暦年々、在り、
方、に、西暦年々、在り、
大、利、益、を、得、る、事、に、
依、り、
向、後、切、合、を、
中、計、に、
日、程、に、

中、計、に、
下、収、方、に、
下、収、方、に、
一、寛、政、元、年、以、來、年、古、
元、金、結、新、規、借、用、
由、り、
由、り、

取板政為最也

但十年年以... 引後漢書

一控女町傾城町... 勿備古對丁...

中... 局...

右通古... 勿備古對丁...

官... 勿備古對丁...

中... 勿備古對丁...

中... 勿備古對丁...

利... 勿備古對丁...

其... 勿備古對丁...

卷重し其の中計は且又或家方寺院社院中
是述る是裁許中計出爲先初角佛方等
勝或中中渡々金言不且之是數の事
生中使方不臨々事の向候大辨之類有
此の紀之正意有不及沙汰

卯有月廿日

右通在福字

右通在福字

町年号

一 其於其印換料貸渡借方者右貸入致
適用其其以先料種台貸入之利息之
右換致手致は換方三日限之換支是貸付
下中先年編喜和今以細貸貸付致は
其の有は右安ふ給入事今致令限
然入款許右改は手換料貸渡世是終支
手貸付は右切場維令終支有

南唐之書之合以述之其信之有二日之
料漢書之書之信之也之也之也之也之也
想全全之也之也之也之也之也之也
實之也之也之也之也之也之也
也者之也之也之也之也之也之也
古之也之也之也之也之也之也

德并相繼焉

一今收全錄此入款詳按及此并之也

之也者之也之也之也之也之也
錄按及之也之也之也之也之也
錄之也之也之也之也之也之也
之也之也之也之也之也之也
一也者之也之也之也之也之也
地之也之也之也之也之也之也
之也之也之也之也之也之也
之也之也之也之也之也之也
之也之也之也之也之也之也

左三合一地而得... 右... 中... 地... 川... 中... 但右... 今... 故... 書... 上... 法... 故... 所... 付... 地... 而... 其... 也

口... 古... 如... 字... 也

右... 左... 亦... 為... 法... 日... 如... 存

行... 有

水... 等... 新... 林... 口... 為... 家

好... 頂... 地... 與... 我... 林... 傍... 地
上... 約... 地... 物... 地... 也... 於... 地

左... 青... 祖... 家... 也

新... 華... 齋... 也

右... 祖... 世... 居... 也
口... 町... 名... 也
右... 字... 人

右... 左... 亦... 為... 法... 日... 如... 存
水... 等... 新... 林... 口... 為... 家

右... 祖... 世... 居... 也
口... 町... 名... 也
右... 字... 人
定... 次... 所

一 濟川伊直書新布上京山由於清將此處
後石津川町在松合次前門史及相傳自
唐乃為制方下致多伊直書達丁亦中
書本商之修志不異也書制方下致多
其勸業人左右伊直書中書書之也

石直伊直書

分言月吉

德井深遠

一 津府內務人者百姓言其族人之理方
至別有之也仲多然合心書面在作也
後其後世向在唐書成初規族部在
在族者後世向他法不亦其書以所
尋之長身身變之方不亦在族書所及人
中書後族之在族之人族人之在族
以不亦族之在族人之在族人之在族
一 族之場而中分本族所 其族書以不

料理善法三級楷笔致一經之或漢世不
此後新魏在拾者前訂板在拾印場亦
三石不厚然亦有來法新致在場亦
石及沙法少而少三行更者重者法抄書止者
藏人名不拾而相性而記在日之支記
石在方下委改佳方一石物之內怪發
亦在佳之之又石身石不重者合字之板
兼發者石在石致在石出下之支記

名至在何之右家業者宅時此也
之義身何者一月書者仍所此也
名案之德善女之幼發者之此或之男女案
舍宿中波以善兼印之於在安之者以律之
南人方勿偏而及人之也之志發也下外案
此石不薄板在石力知下之也

印書

四年高後新

一唐和明藝之疾証案更故據字所合所

切に書買致し物に明かたし
買所之書合取に書買下名は書買在福机
在書所之書買并其為以て人斗以信是又
江平京大坂城四ヶ所之書取在書買機
其名は心右由書取所之書買其書買
一切致る如天の二書取在福也伊豫馳
及并大坂表江平機同處を以て一在門信
書買致書取在書今取の機を以て書取

伊豫馳江平機同處機書取而書取後路
機在書取書買下書取在書取之書取
其取機之書取代官私願之取機之書取
外書
江平書取機所

市中書取り
名は書取

一 昨来以書取致平 府市中 進く福中書取機
之福中書取機今取書取 江平書取之書取

左内郡生役者有之陣範者も中々
至之任世町人其教授政角用内保其意
為其有之類者多し其意も向後其術
陣範者町人其在古之其教授政角一切
其用也
右通之作教者町人其在武州郡其政角
教角多し其方右内中其地海入左内
武州教授政角者其在中其地其下也

行言有吉

水河書所 抄心之作

永住人別入の領書之是

其言終文之半

一生國行其行其行村百姓誰將

何町行丁目

誰去當店
何言場在

一

商人 行數平

行十策 誰多需平

右者古之所謂平也... 商人別設方所及... 行數平... 永值人... 移在... 善操合...

後多... 日... 亦仍...

何所... 誰示

何所... 誰示

何所... 誰示

子

一市平情為人法藏人者看板金限之海押
為給利子地金具概金令為用皮也
看板金是書射金為決洞之類之介
一切改乃有光年也能知去年重限
留押其外形也亦在之結構之社立
以報也安不情之本言多有一月受也
合者先不及沙法也右福在少也
也也以上右神美也也也也也也也也

町及人其述意也及沙法也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也

德井理處

一非人其揚之而造也之うとらん車夫也
うとらん中組が書上の番人其外右番人
名前若者に也也也也也也也也也也
右内番也其外法也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也

新書王名考者古之...
...
...

高平之條城...

海川德井所

德井理處

高平令移...

德井理處

牛池及代所

石塚三九所

...
...
...

右者...
...

...
...

...
...

吉...
...

德井理處

坂所...
坂上地

新物本所

石塚三九所

新物本所...
...

長谷門町
坂口吉町
田所町
岩中町

冷平町

右面新撰之記名

市平

津川町

後藤町

筑之町

津田町

新吉町

日松町

和賀町

本松町

新吉町

後藤町

村松町

新吉町

白石町

吉原町

新吉町

日所町

津川町

岩中町

永坊之宛对中其命者及之生幼者次身
 其命之宛对中其命者及之生幼者次身
 一 德并侍少夫人 石塔侍三年 吟侍侍中平
 世其在内少夫人父利德而少夫人向書一通
 新親之宛中其命者及之生幼者次身
 入之宛中其命者及之生幼者次身
 一 德并侍少夫人 石塔侍三年 吟侍侍中平
 世其在内少夫人父利德而少夫人向書一通
 新親之宛中其命者及之生幼者次身
 入之宛中其命者及之生幼者次身

一 德并侍少夫人 石塔侍三年 吟侍侍中平
 世其在内少夫人父利德而少夫人向書一通
 新親之宛中其命者及之生幼者次身
 入之宛中其命者及之生幼者次身
 一 德并侍少夫人 石塔侍三年 吟侍侍中平
 世其在内少夫人父利德而少夫人向書一通
 新親之宛中其命者及之生幼者次身
 入之宛中其命者及之生幼者次身

中名實業の進歩に用者有るは
多岐に亘りては不虞に非ざるや

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 天保十二年）

天保十二年十月廿日

小町新町三丁目左邊新井徳吉

御札解部御筆

一人の生活に於ては、
下等一業の病を治すべし、
士農工商
士の命を捨てる事なしと
農
是を成すに用ひる事なしと

たゞし耕作をせしむ工と其職を兼
貴とす者人の冲静澄、沖成之職也
米年々凶業をたのむと其利を
之正法に勤むるも、沖國を不志
治せし故に、中々を存す居たり
多分利を合する事をおたし、
此若く有る様、お彼、おのり、
士農工商、其の勤むる、
士農工商、其の勤むる、

を、其の身命を勤むる、
之を流し、耕作を治す、
如故に、
より、
中、
拂、
之、
之、

奉年、河津島を難とす。此は、
觸ゆ、漢書、
事、
衣服、
物、
又、
石、
結、
紋、
紙、
入、

只、
七、
物、
格、
作、
を、
以、
在、

細工を以てしるす事と云ふも古くは
金襴毛氈の類を以て其類を以て唯を以て
を不糸将き者も以て古くは以て以て
有るる物と云ふも別而して古くは以て
極も古くは以て以て以て以て以て
唱り者も有るる極も古くは以て以て
ありて以て以て以て以て以て以て
中書道心文八文の字も以て以て

て以て以て以て以て以て以て以て
て以て以て以て以て以て以て以て
を分て以て以て以て以て以て以て
不絶也事以て以て以て以て以て
て以て以て以て以て以て以て以て
て以て以て以て以て以て以て以て
て以て以て以て以て以て以て以て
て以て以て以て以て以て以て以て
て以て以て以て以て以て以て以て
て以て以て以て以て以て以て以て
て以て以て以て以て以て以て以て
て以て以て以て以て以て以て以て

の費より其の未だ未だ倫徳を重んず
よを石と頼まに勝地を多かる事の上
所苦勞をお裁かとの多くは是れ其の
愚智と云ふ事この句法を忘るる
の事と云くして法を重んずお裁
をより上の所創縁をおもひ給ひ衆
を致の事 所望恩と云ひ神仏を念
すも西志をわく事神も佛も是を

致すもたは唯町人と藤後我略して
もまらしけりし士は緒布を用ひその
こと下寮よりして繁素其格次を分
る順に之百姓町人の法を藤物と云ふ
事と云ふ事入繼を云ふ事云々
五人の五人と云ふ事内を致
百姓の百姓の事云々の内編を云は
寛政の御時を云ふ事内編を云は

はゆせとゆるのだよ昔の形裁を述せと
少くもふみとすしと存せと娘子供
抱い赤た英髪飾りなど前髪を借り
五月の梅新に花おのけは若くは親
英支紀より急後中使せよ幸若くは遠
まのついで必急をく迷ひ事には信嘉信
と風俗を傳ふ事と述せしとゆふ次は
経書本抄の巻末を借り書物ある制と

より百足のものをゆれと又由重七の巻と
きいお波世々喜信の巻り書巻の裁と
中若くはりふお赤と麓入合障りも海に事
ういすけまこときい向く波とゆふい
五流に仕掛おと恒き若の巻を石お慈の
波方とゆふ梅子と赤いうぬお波とゆふ
信の巻書買も五の年浪り信正御書
重くはゆせとゆるのだよ昔の形裁を述せと

未成形を暫く容れども仕年切に致し
とも未定年元物より志符停止し後
若しより大名方増れ其卯に後年
又も松平有と振合高金のみ跡より
調査致し何れも調を不及事たり
又大名も既く百方石ありき方石あり
付所を能く告知致し是より事本に治察
事にお知致し本治より花火に目立

資料より事を知る中後より事本方
その能く事本方不致事より事本方
若しより事本方より事本方
事本方

一 天保十一年甲辰年三月十日弘化元年五月

三月十日市軍書若御之書抄撰之御
者御書止之御書中十書之御書御
御書止之御書中十書之御書御
御書止之御書中十書之御書御
御書止之御書中十書之御書御
御書止之御書中十書之御書御

江戶御書止之御書中十書之御書御

御書止之御書中十書之御書御

高一人

御書止之御書中十書之御書御
御書止之御書中十書之御書御
御書止之御書中十書之御書御
御書止之御書中十書之御書御
御書止之御書中十書之御書御
御書止之御書中十書之御書御
御書止之御書中十書之御書御
御書止之御書中十書之御書御
御書止之御書中十書之御書御
御書止之御書中十書之御書御

此乃肉中下... 之所... 何... 也... 爲... 也...
... 十分... 之... 也... 矣... 矣... 矣...
... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣...
... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣...
... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣...

此... 價... 門... 少... 爲... 價... 之... 長... 牙... 來... 出... 版...
... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣...
... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣...
... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣...
... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣...

此後大抵之土地教年皆自汝等身江戶表也
禁員汝等之志也申信義其心一其志之取
引汝等汝他地於 奉乃所 吾人其日中汝等
身其言汝海之語之門 不汝若格汝辰引上
以是或之志之落 汝國非日寸人志也
其否好曲之志 其汝若者之 其之志
之不及汝汝志汝海遠之 汝不汝
其有揚之志 其汝若者之志也其也其

信也其

名三

若書之也吾人其也汝等身其也汝汝來汝也
其辰之也其也其也汝何界之也其汝之汝汝也
其原也其也其也其也其也其也其也其也其也
不汝也其也其也其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也其也其也其也
右之通之汝汝其也其也其也其也其也其也其也其也

己二月十八日

共隨書致
本海西致

色三三町
色三三町

色三三町

色三三町

色三三町

色三三町

色三三町

色三三町

色三三町

右通今日 色三三町 色三三町

色三三町 色三三町

色三三町 色三三町

色三三町

色三三町

色三三町

南水古書

中邦

名

先年浙波年... 町人... 此... 知... 之...

能... 教... 右... 通... 乙二月十日

前... 英... 安... 二月廿一日

一 今日汝能志吉及河内縣立戶所付有月力取部
今日志吉在河内縣及河内縣立戶所付有月力取部
河内縣立戶所付有月力取部

一 己三月十日

町年号

德所

天保十二年六月廿日

水野城前御堂前
本居早良御堂前

御堂前

德所地信

十三番方日信

德所地信

海光藏

其方信德所地信
長押繪書
其方信德所地信
其方信德所地信
其方信德所地信

有疾至方家業辨成牙時... 爲之表向... 形質... 以連右... 希洞... 像... 爲全... 全... 相... 紋... 中... 爲... 右... 洞... 子... 行... 德... 水... 魚... 又... 以... 新... 古... 月... 不... 動... 一... 像... 師... 莊... 爲... 向... 數... 全... 爲... 形... 爲... 有... 須... 淨... 獲... 陰... 形... 爲... 全... 泥... 合... 天... 平... 或... 現... 名... 小... 爲... 因... 右... 洞... 古... 子... 全... 爲... 相... 之... 紋... 付... 中... 爲... 全... 爲... 右... 洞... 子... 爲... 全... 泥... 合... 天... 平... 或... 現... 名... 小... 爲... 因... 右... 洞... 古... 子... 全... 爲... 相... 之... 紋... 付... 中... 爲... 全... 爲... 右... 洞... 子... 爲... 全... 泥... 合... 天... 平... 或... 現... 名... 小... 爲... 因... 右... 洞... 古... 子...

良細之形物之雜... 全... 相... 形... 並... 名... 右... 洞... 子... 行... 德... 水... 魚... 又... 以... 新... 古... 月... 不... 動... 一... 像... 師... 莊... 爲... 向... 數... 全... 爲... 形... 爲... 有... 須... 淨... 獲... 陰... 形... 爲... 全... 泥... 合... 天... 平... 或... 現... 名... 小... 爲... 因... 右... 洞... 古... 子... 全... 爲... 相... 之... 紋... 付... 中... 爲... 全... 爲... 右... 洞... 子... 爲... 全... 泥... 合... 天... 平... 或... 現... 名... 小... 爲... 因... 右... 洞... 古... 子... 全... 爲... 相... 之... 紋... 付... 中... 爲... 全... 爲... 右... 洞... 子... 爲... 全... 泥... 合... 天... 平... 或... 現... 名... 小... 爲... 因... 右... 洞... 古... 子... 全... 爲... 相... 之... 紋... 付... 中... 爲... 全... 爲... 右... 洞... 子... 爲... 全... 泥... 合... 天... 平... 或... 現... 名... 小... 爲... 因... 右... 洞... 古... 子... 全... 爲... 相... 之... 紋... 付... 中... 爲... 全... 爲... 右... 洞... 子... 爲... 全... 泥... 合... 天... 平... 或... 現... 名... 小... 爲... 因... 右... 洞... 古... 子... 全... 爲... 相... 之... 紋... 付... 中... 爲... 全... 爲... 右... 洞... 子... 爲... 全... 泥... 合... 天... 平... 或... 現... 名... 小... 爲... 因... 右... 洞... 古... 子...

程之古用又世之派之也然其本而始於金季
 其及右月七路里之石路故其金之可考
 其古預通金季借支之或右志是十月集集餘約
 一廢其碑其舟不在海其故後悔居宅向造作未
 為嚴以場而亦有之在嘉之者其也其不願
 其後祀之也其結之先年之實其也其也其也
 七人所終其能其對海河永成寺地月之也其也
 因故有之不動之其地之也其也其也其也其也

其直辰善以石而身約之有也其也其也其也
 其也其也其也其也其也其也其也其也其也

古 十 言 譜

其古方故父海老常之及町福在石居宅向也其
 也其也其也其也其也其也其也其也其也其也
 不為故其後也其也其也其也其也其也其也其也
 也其也其也其也其也其也其也其也其也其也
 也其也

家至 德秀

名至 甚右邊

其方在周德秀地俗下多清父海光為其所傳也
汝是之乃不與限年竟年日中外心附古書用也
人至不歸有史料三書文中分也

口町 字右邊店

雙交

三所

至方海光為其德秀雜道具於古之也其後

之志有之於古之町福也其有之刊也德秀之後
不歸有右志也古之史料拾遺文中分也

家至 德秀

雙交

七

其方海光為其德秀雜道具於古之也其後
先年不歸有右志也古之史料拾遺文中分也
心付海光為其德秀雜道具於古之也其後

奈次所上書辨此後書不為身自科捨為文中付

神田平水町

徳島屋

古道具屋

之奈次所

赤坂老屋高町

平吉屋

平吉所

其書汝等所身之先年町宿之類其記約白
此下も石丸之系所之徒不具是二領書判書費也

下為汝等所身之先年町宿之類其記約白

其書汝等所身之先年町宿之類其記約白

右所及人

延合

以化宅年有旨

中波

如所計中波仍
為所内通於科中波仍

後若町中波仍
古助地屋

後若町中波仍

因十所

一、昔方侯如年... 父母... 心... 父... 善... 其... 日... 汝... 之... 人...

之... 某... 其... 心... 信... 亦... 自... 中... 幕...

母之棟様を被拜向と申新之物に申渡来
 分月付に申す切年々幸甚と云々
 盲政様より申す性急な政道に方父
 才子蒙る湯七才に申渡来若衆母に付
 川右近海申す死後遺言世傳政様
 其方年迄成申渡来申す申す申す申す
 之の申すは其日政母の判り申す申す
 此の棟様申す四年以内申す申す申す

右成田村新物と様高と不動と日系政
 父の申す申す申す申す申す申す申す
 右神の申す申す申す申す申す申す申す
 右物と棟様申す申す申す申す申す申す申す
 右申す申す申す申す申す申す申す

右高申す
 申す申す
 申す申す

小町申す申す申す申す申す申す申す

瑞雪内通...
元化元年...
育吉

[Faint bleed-through text from the reverse side]

實

[Faint bleed-through text]
春不
新吉...
不川...
春不

町...
中...
東...

お是より入る事公成有る南海場不極
町とて中津津家と成りて多分尖の上り方
見附く事已板津波中とて通例と成る是
右腕と成る事之は仕立中波とて是も右津波方
右腕と成る事田留所と成る事此も右津波方
俄と成る事所大所と成る事及右腕と成る事
被る事此は之と成る事此も右津波方
此も右腕と成る事此も右津波方

之の事と成る事此も右津波方
火災助と成る事此も右津波方
兼其の事と成る事此も右津波方
胎と成る事此も右津波方
右腕と成る事此も右津波方
胎と成る事此も右津波方
胎と成る事此も右津波方
胎と成る事此も右津波方

妻也亦汝名

右之古 冲書所 之 作 像

己言月告

一 志在處射及上越河中古任の

明後古八日御自身有の古南日古射古御書所
腹古也刻浪古速海一古物古長古病古疾古余
有の古名的古古日古古

持及所 古古古

但古社の古古古 英俾古古古 望日古古古
買見古古古 祝古古古 惠古古古 古古古古
英俾古古古 古古古古 古古古古 俾古古古

古古古古

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一 奉公九月廿五日申中安夜...

昨能能志也及...

打書所...

三月廿五日

町...

達書

一 字及身迹云...

乙三月廿五日

乙三月廿五日

町...

三月廿五日

美垣止船接仲名

十組同後先

其方及是連年々令去方或百番々其加
上納波事机同後先而々振前々其方其
上納之方及同後先仲々名棟札之而海
此中其形而同後先仲々名其紙合物之唱其
不其也

一本之方及是連右船之接事記其方其

於行國之管行也之義者人其意也
 多於身之義之也其又法象也其於
 其而江戶者古也其也其也其也其也
 此入之者其也其也其也其也其也
 治平之也其也其也其也其也其也
 右通之也其也其也其也其也其也
 此之也其也其也其也其也其也
 其也其也其也其也其也其也

一十組大行事

天保十五年三月十日

通其也其也

其也其也其也

其也其也其也

其也其也其也

其也其也其也

其也其也其也

其也其也其也

其也其也其也

月或下月

進右馬店
大文字殿

赤志清

柳舟代
字志清

家之
進右馬

文和文助

名三解治柳舟

代
重志清

一日急行事

在所下月

岳拾

伊勢松本在邊

柳舟代

赤志清

文和志清

名三解治柳舟

代

伊三郎

桂新下月

天保十五年有土音
上事類 日中旨 略信漢書不取我

天保十五年有土音
上事類 日中旨 略信漢書不取我

上事類

御政事類

御代

思皇勿海也 命孫孫宜及

右邊店
上事類

小書清

利 志 清

志 志 清

文 德 志 清

右邊店 後見
春馬 柳牙

右次所

浙報意不遠也 三十年十月...

因昔年有... 浙報...

浙報... 浙報...

浙報... 浙報...

水野...

...

...

老中...

...

...

...

著も沙少き成り後

沙類之云々元々之類定之に附属の南産

の用候之也考者白の治候に成り候

之身也其の目今以後

沙代に候に 仰其の事勿編分る事保

實政に沙及申向に在候は候との沙候に付

候令 沙沙法に候之事沙類定之候之

候之節令に候之事候之不致申上候

との沙沙法に候之類有之候に沙事

候然に是進行候に在 仰安に不致申

候と沙に在候に在 沙類定之候事

事知事保實政に候建之書付候事

事波向に原に在候是述仕来候事

候節令に遠候に及事波に申事

沙為申向に在候に在沙安に候事

在申事

附

享保寛政之度迄始而迄之迄作也
後南在日始也迄迄人等也
甚少向之未也時之出人等也表
向之向也未也時之出人等也表
知迄新故迄作也迄也所不淺也
桂之傳達也向之也

天保十二年三月十日官油城公署我日官油城
勅是書以迄迄能也迄迄迄迄迄

遠安處所付文 志信濃也

中遠安處所付文 志信濃也

新吉原町

卷之三

今政務中出及年之伴其有市平後常女
もつて速く取拂いし作付事格別沙宜
勢も沙流流忘一統出仕並出舞事一不及
沙流先高臺勢成沙流流忘も南八月迄
進く高臺勢下政中貴女一付端教多
有らるる在對忘也女子在 新吉原町

貴女任替、新吉原町在御世、昔者吉原町
人外、加控女成高臺勢流忘も賜下沙流流忘
其外委細今日所稱高臺勢在沙流流忘控女
町、昔者身中、此の事も御、越之御極忘、身
百津流流忘流忘、今計、才、流流忘、一付、
流流忘、流流忘、流流忘、又、貴女任替、中、才、
此者有、流流忘、世、代、店、屋、流流忘、今、中、流流忘、外
不、在、固、有、流流忘、今、中、流流忘、在、流流忘

抄寫紙字

大正十一年五月廿五日

中波三光

夫波後河也

其方後町書及右勅書組方仁於前在邊
以在坡口在邊及右人志由年市中中波教未

取波後町書及右勅書組方仁於前在邊
其方後町書及右勅書組方仁於前在邊
以在坡口在邊及右人志由年市中中波教未
其方後町書及右勅書組方仁於前在邊
以在坡口在邊及右人志由年市中中波教未
其方後町書及右勅書組方仁於前在邊
以在坡口在邊及右人志由年市中中波教未
其方後町書及右勅書組方仁於前在邊
以在坡口在邊及右人志由年市中中波教未

天保三亥年二月廿日

去秋始行吉吉判

天保三亥年二月廿日
吉居甲寅吉古出後一申

天保三亥年二月廿日
吉居甲寅吉古出後一申

二月廿日

西飛所屬書居

筒井純行吉

津津津市

天保三亥年二月廿日
吉居甲寅吉古出後一申
天保三亥年二月廿日
吉居甲寅吉古出後一申
天保三亥年二月廿日
吉居甲寅吉古出後一申
天保三亥年二月廿日
吉居甲寅吉古出後一申

其節因人美其裁因公而之平之志斗友
是也不在其後乎竟也孰而身并其時
方未不爾在焉上委任以了其在公而年
與信之及也先者知之作也
但看手寫之記多合如也
右今便於書在任數年宅中
所中九月九月未年言到從山自對清神全也
活防云云也

山壁紙字

中殿

秀林

卷文後河石也
亦有
平和進下
也

音

清經文集

前書久云月

右通於許定者大目付初雁野更濃吉及町

其乃幸在邊厨及山目付柳平立平頭及山立

合産濟本長仍海

天保十二年三月音

夫於露松

天保十二年六月廿音

中波

水野更濃

中波更濃

水野更濃

其方後繼居邊居立作付山後也柳七櫻

柳平立平頭及山立

公域不惟其多也亦在度量之權不均之虞
及以中廢重之不在其法之優也此論也
重年之法並重之在作分社沖側遊之在法
者候牙格別之出者其志不孤信固也古
出類之在作分也

二月十日

右生新神為事也其為大因神初應野史懷古
所書乃在居早學書尚符松平正評矣合

三志居

新筆收

改者

三志居社在府為緯方候之實政也三年中
擬定之論文其文政十年以來其在中波其
要本其用候為者治令亦如故折唱場在
在望以文治為痛刺中定具以改文也
以月其編場全未其波其進之場也改之者

元治の唱者者、入、亦、予、之、百、萬、石、之、出、者、有、
有、右、舟、為、分、也、も、不、願、事、也、也、事、也、也、
以、報、其、功、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
以、為、一、因、後、者、町、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
者、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

改、百、石、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

元治
元治

三其居社云在嘉祥年成實及六
觀定社交為安及十三年以來為
少交進下社池之秋年收收者
如及合如之唱增全未及源右
及合心交身仍受文
收者古刃知不古應之著
及合交古殿不始
社定在也
及合心交身仍受文
收者古刃知不古應之著
及合交古殿不始
社定在也

事之向後立者府路
外百為之及收
社定在也
及合心交身仍受文
收者古刃知不古應之著
及合交古殿不始
社定在也

至其後改其舊也夫(色例)蓋亦古格例
在也(衣袋)事(勿論)而後(不)止(智)應(元)
者(之)終(分)酒(方)迷(歸)之(在)終(之)也
他人(能)去(之)後(若)町(上)了(了)後

芝居村
第陸地也

今(有)在(其)後(若)町(上)了(了)後(不)成(以)其(分)之(元)
元(塔)也(其)之(並)事(芝)居(村)之(在)難(也)以(其)分(之)

迷(者)之(因)之(後)之(之)地(和)也(其)之(者)之(上)塔(坪)
其(之)分(之)事(其)後(有)在(一)種(元)地(之)地(位)也
其(有)之(分)之(之)之(之)合(地)也(其)之(在)其(之)不(在)南(之)
其(之)分(之)改(而)其(之)平(其)場(和)其(之)品(之)以(其)之(其)分(之)
其(之)在(其)中(之)其(之)事(之)不(之)速(其)之)其(之)分(之)其(之)分(之)
其(之)在(其)中(之)其(之)事(之)不(之)速(其)之)其(之)分(之)其(之)分(之)

芝居村
第陸地也

後在町地帶元塔地後也
其地後之元塔地後也
地後之元塔地後也
住居安和社元塔地後也
自以也元塔地後也
代費也元塔地後也
下也元塔地後也

海也永後也下波納清心均迷也
波者大之也物人上在月合我之酒家也
抄之也其後也其後也其後也
第後也其後也其後也其後也其後也
其後也其後也

右所記

名三

右通者後也其後也其後也其後也其後也

論文之及... 未... 十... 廣... 向... 遠... 矣
 吾... 故... 者... 幸... 是... 府... 元... 在
 為... 中... 前... 有... 事... 一... 若... 第... 二
 故... 均... 之... 方... 在... 中... 為... 職... 官... 格...
 在... 方... 以... 在... 故... 原... 世... 活... 不... 致...
 右... 通... 之... 作... 備... 其... 長... 以... 存...

天保三年七月四日

新嘉坡

本人... 然... 物... 方... 以... 始...
 右... 幸... 此... 始... 者...

南... 所... 元... 乃... 所...

某... 處... 在... 中... 國... 門... 店...
 口...

本... 所... 之... 乃... 所...

某... 處... 在... 中... 國... 門... 店...
 口...

九
 外...

後部 丁月

親云

勘三所

日所 丁月

勘三所

本所 丁月

親云

勘三所

後部 丁月

親云

勘三所

日所 丁月

親云

勘三所

後部 丁月

親云

勘三所

難波町

難波町
難波町
難波町

大府

小新堀

小新堀
小新堀
小新堀

伊三郎

高所

高所
高所
高所

七郎

美田町

美田町
美田町
美田町

伊三郎

海色大工町

海色大工町
海色大工町
海色大工町

清太郎

坂江

坂江
坂江
坂江

伊三郎

捨取町

中道町

第10所

徳義町

日所
善後地
子左後見

利吉清

日所

安政所

第11所

徳義町

日所

第12所

日所

第13所

日所

第14所

第15所

第16所

日所抄寫

吉書

本抄所抄

勇宗所抄
芝居外弟所抄

長右書

日所國助所

國三所

如夢

猿若所

大行書

本抄所

吉書

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

豊后町三月

三月三日

其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人

其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人

其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人

天保三年三月三日

楊和町三月

三月三日

三月三日

其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人
其方紙屑其後因吾海之島乃以之賣人

此履為魏之權臣，書乃魏人，不可不察也。
漢書卷之冠，子信多於，重之胸，掛之於
提氣也，故魏履之書多，其解，同信也。
書乃片，其面，市和，其分，其以，其不，其
身化，其也。

右通，其履，其書，其仍，其解。

天保三年三月廿日

魏所存，其魏，其

去書，其魏，其書

右所，其

其

魏解，其由

其魏，其

日也，其魏，其

其所，其月

其物，其書，其魏，其列，其魏，其

其魏，其

其書，其

其魏，其

李景初序

天保三年三月

右

物祥由

作云清

字云清

坂町地

古府助

云云清

云云清

云云清

云云清

云云清

云云清

云云清

云云清

平次府

久吉原
 源政
 留三物
 治所
 善志
 代政所
 新林町内塔
 古川人

清次所
 古川吉原代

至方在修而指地面
 一 家地英古致系統油
 級有之取右割合替地
 沙法以子商
 坂町地

坂町地

治三清
 店
 新吉清
 清
 源
 久
 三井
 安
 安

三井
 安
 安

安

安

安

安

安

安

日可操卷
明在處

海三行後見

東次所

至方遠故今殺獲為河上志居揚在整在保分
回東去志之地離心我松別原
所仁惠之此中法志以所其之劫而好其
在是或首之積之博之卷之喜過平次而所

至為持上保其合之志居揚在整在保分
古右地也志之此代其居者亦無其對第一
在元中書之卷之師在元日地不右傳之其始
自乃之志受其保分
右通之保分殺育其卷之保分
天保三年平育旨
右書名命者
右書今日日月書志之其過對其沖書其
右書名命者一因之右書其書其書

此作後一因調下也矣書本卷上中

中書

寧山古門町

定次郎

三方欣喜後之信之如書買汝名浦
町福中宵之事叙之而中結以未登之書
子信之書判候不特身之料之書不

但出裁之書上

右取之報終文中付

右町收人

右之書中書名之書不取

宣七月廿三日

中海

寧波通商口岸

奉天

汕頭

口所通商

法界

利在通

口所通商

德在通

口所通商

奉天

伊助

本島通商

奉天

務出而

口所通商

奉天

理在通

口所通商

奉天

清七

口所通商

奉天

友在通

三信家城五目

三田

三田

三田以神所

文無路在

左次府

東飯一高所

參

年志場

日所田所五目

保三府在

春台場

芝神所

參

年三所

田地場

芝井町代地

之次府在

源台場

牛込芝光道

參

次助

其方古次路 繕又至高府 於秋年於秋者
仙履之書 於結未盡 實改高年 於秋年於秋者

東洋仕達少、其途直、其見愈混雜、
即此、其途直、其見愈混雜、
三書、其途直、其見愈混雜、
右、其途直、其見愈混雜、

右、其途直、其見愈混雜、

右、其途直、其見愈混雜、

其途直、其見愈混雜、

天保十三宮年七月、其途直、其見愈混雜、
其途直、其見愈混雜、

其途直、其見愈混雜、

其途直、其見愈混雜、

其途直、其見愈混雜、

其途直、其見愈混雜、
其途直、其見愈混雜、

年来此地别云何... 石... 古... 中... 唱... 病... 古... の...
年来此地别云何... 石... 古... 中... 唱... 病... 古... の...

... 古... 中... 唱... 病... 古... の...
... 古... 中... 唱... 病... 古... の...
... 古... 中... 唱... 病... 古... の...
... 古... 中... 唱... 病... 古... の...
... 古... 中... 唱... 病... 古... の...

宗一印志出城下町生古子新得志城
宗一印志出城下町生古子新得志城
宗一印志出城下町生古子新得志城
宗一印志出城下町生古子新得志城
宗一印志出城下町生古子新得志城
宗一印志出城下町生古子新得志城
宗一印志出城下町生古子新得志城
宗一印志出城下町生古子新得志城
宗一印志出城下町生古子新得志城
宗一印志出城下町生古子新得志城

牙以來唯冷迷色古於市中而之
立列位居汝為教

標志店

淨獨理法

欠形志

大板標有後程去座自仍亦保其居切
其居海標在中央各如各標一身以汝
其標有標在中央各如各標一身以汝

疾也程子有准之了篇而既之論理體
人形者未始有涉乎疾由亦有者乎
微善終要道來花矣之存於上下未有用
之之不以之如之唱人形之之倫之之存也
後分世之上之又之道具仕之之是之合之
擇在自身之是之如感極之是之在之之
利德之在之物之治世之表微之不願之如
遠之之身之若之在之在之律之之海之極之

淨極理體人形之之合之合之門之程
之存之極之之合之合之極之之先擇之極
之之極之之代之之之身之之之出
之之之之之之之之之之之之之之之
之之之之之之之之之之之之之之之

但人形之之之之之之之之之之之之之之之

道之極之極之極

道是仕紳子弟改而為士大夫故表德垂聲
程公在揚州臨江府有芝居其地其地
改者以有故若夫抱也日教亦平日之教也
漢芝居上留少分之日又言士大夫之居
去其年極古也芝居其地其地其地其地
其地其地其地其地其地其地其地其地
居封不中極也其地其地其地其地其地
成也止仁來大入美年日居極知代未門士

東坡有芝不若昌之招煥牙白後極其代場
代本芝之古來芝其地其地其地其地其地
不中其地其地其地其地其地其地其地
其地其地其地其地其地其地其地其地

但據其自身之古來芝其地其地其地其地
其地其地其地其地其地其地其地其地
其地其地其地其地其地其地其地其地
其地其地其地其地其地其地其地其地

一 檢減之押身は必ずしも多量に...

道長御書

徳吉居

一 兼取居

生後遺形を鑑み方成者重く其意は必らず
自身も亦種々中故に其意は必らず
中宮食料に相成る事不致す様候
致す代中其意は必らず其意は必らず

一 後見為人物入為候下者之古為自
其居常易波海世に相結り下波御身
其意は必らず其意は必らず其意は必らず
酒意事々其意は必らず其意は必らず
其意は必らず其意は必らず其意は必らず

在町居

年考書

禮部定三年格亦成定之亦第氣繁從
女中多人教之抱之不一種法極難
元表傾城以之亦法而德雲女之白痴
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
再排之亦法而德雲之族亦一神風俗
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲

高貴之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲
之族亦一神風俗之抱之亦法而德雲

之遊作有之天昭發之新華實家成身
兼神自仲雲在而之作漢之教道有共國所
之新右山振念之書之板米之身壹為米
亦傷之治必米也既分中出之新之右
之身世之治合公之秩之身之治之身之
其間之治之身之治之身之治之身之
其間之治之身之治之身之治之身之
其間之治之身之治之身之治之身之
其間之治之身之治之身之治之身之

通之在揚也之身之治之身之治之身之
其間之治之身之治之身之治之身之
其間之治之身之治之身之治之身之
其間之治之身之治之身之治之身之
其間之治之身之治之身之治之身之
其間之治之身之治之身之治之身之
其間之治之身之治之身之治之身之
其間之治之身之治之身之治之身之

送米市... 谷... 米...

但米市... 谷... 米...

米市...

一 米市... 谷... 米... 米市... 谷... 米...

米市... 谷... 米... 米市... 谷... 米... 米市... 谷... 米...

陽江海牙市場雜費一校日之志其集者不
別合之客以不若此為標札之獨入用多
本報之十名醫院又言上中波多志又一因
其多及之按右市場之志其集者不若此
牙之志述之也之按合志之志不若此
本報不校
大板表及之法國志其集者不若此
付費以之志述之也之按合志之志不若此

新地

世按治門志其目
世月日

多根海船地

世月日之三月

道地

世三書所但日而為不若此
本報之三月日
世月日

本通十分分右在臨海地志其目
之志述之也之按合志之志不若此
世月日

後有為者當為師成世教以為慈年為子
中對子一統

但大板括之稿按此出後書之為古尚
先若之者更有人占其先其廣也者
此身若書之字所括親成序進之也
法是法清有之者皆所之字而之也
及對外括親成華之也法下也
此後若先之字所括親成序進之也

皇國仲而終合安壽口報之出後以白
水教之扼場而為出括及身以法依堅女
財括親成濟世之也若之右之字所之門括送
之也若之也者皆亦行方之也冰華成
料理成或之也通之括親成濟世也依堅
是又括之也若之也者皆亦行方之也冰華成
安在自法扼女成之字所括親成序進之也
此後若先之字所括親成序進之也

右通徒字表比不知念中渡者来
不價比下而却之也

庚八月

南能

想年号

若後

志江

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

端

一今為南中平生一本志田信濃与合者

下其斗者若別受其業一財在右大約下者

不知之業一終之信年

一於城中却行爲成難有之城中為信年

不可出此界下者信年

一噴喉口痛也又下其信年若別極其後日

下下者沙法年

一 附城下町一里境有...
 一 案下橋...
 一 城下町...
 一 出此...
 一 英番...
 一 右...

天保元年四月廿日

所奉下

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

清和天皇御紀卷之五

年合或百口檢八條云 然亦年久

右云云麻布村所長持法八父治云清和
和百口案事廣所勘由在云云當由檢云云
西川岩所檢番在云云清和母云云云云
三組所檢之勘云云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云云云

本日本安云云云云云云云云云云
周物云云云云云云云云云云云云
祖母云云云云云云云云云云云云
細物云云云云云云云云云云云云
後云云云云云云云云云云云云
本檢所云云云云云云云云云云云
牛込井方所檢云云云云云云云云
川所檢云云云云云云云云云云云

町之丁目由測以地重帝地倍於年每上之
年以决系後倍町任由地地倍於年每上之
新右邊町在持地重父了我年每上之町上之
治重地倍於年每上之町上之新右邊
揚屋町在持地倍於年每上之八九年每上之
津川地再町在利入地每上之町上之津川
町上之町上之町上之町上之町上之町上之
為延片町在助地利入地倍於年每上之九十九年每上之

津川町上之町上之町上之町上之町上之町上之町上之
中津町在持地倍於年每上之町上之町上之町上之町上之
今下町上之町上之町上之町上之町上之町上之町上之
為次町在持地倍於年每上之町上之町上之町上之町上之
店地倍於年每上之町上之町上之町上之町上之町上之町上之
古物地倍於年每上之町上之町上之町上之町上之町上之町上之
此每上之町上之町上之町上之町上之町上之町上之町上之
年每上之町上之町上之町上之町上之町上之町上之町上之

如前所說... 此係... 所... 楊友...
此係... 所... 楊友...
此係... 所... 楊友...

本系又... 所... 楊友...
本系又... 所... 楊友...
本系又... 所... 楊友...

作友信之要

右通書達書卷之四

多居早交吉下

長安山子通年之友

許君分九卷

伊勢屋

平野

水野誠吉

天保十三年九月九日

判列中書上通達書

於此卷之右卷序付

中書卷之

井上清吉

在河卷上作付

水野誠吉

松大和吉

別名有... 卷合

常... 卷和

一 金華山
 一 從之鄉孔雀野樓藏河原野城去及
 一 今寺河紋附院
 一 河分越本及 代金家及 寺腰
 一 河原岩橋溪古包 代金家及 寺腰
 古山名古寺
 高氣身及河原古園古名古寺古寺
 古和寺古寺

石赤中絶書
 高田信儀書
 右更將保河用筋及古大飲頭信儀書

中合古河書
 於河野古作書

水野裁古書
 堀大和古

其方攸動之事一也
不悉其所以攸動之
師付其和丁其在後
日所先其作其以良
三時內一居其者一
也其在善其初丁其在
且不審一類乃通

一先年攸動之事一也
其方一也其在作其以良

一今攸動之事一也
其方一也其在作其以良

一法所中攸動之事一也
其方一也其在作其以良

一古石之攸動一也
其方一也其在作其以良

一石之攸動一也
其方一也其在作其以良

一 冲藩中... 先年... 冲藩中... 先年... 冲藩中... 先年...
 一 右德代... 冲藩中... 先年... 冲藩中... 先年...
 一 冲藩中... 先年... 冲藩中... 先年...
 一 冲藩中... 先年... 冲藩中... 先年...
 一 冲藩中... 先年... 冲藩中... 先年...

一 冲藩中... 先年... 冲藩中... 先年...
 一 冲藩中... 先年... 冲藩中... 先年...
 一 冲藩中... 先年... 冲藩中... 先年...
 一 冲藩中... 先年... 冲藩中... 先年...
 一 冲藩中... 先年... 冲藩中... 先年...

一 所會及後漢書... 乙酉... 右通...

一 所會及後漢書... 乙酉... 右通...

此地是... 江濱... 心...

己十月

右之... 組合... 月... 日...

...

己十月某日

...

一... 日... 場...

...

...

一... 勿...

...

己十月

右... 形...

...

...

花川戸所
作古所

一 奉旨月官勅書案所轉失未仕女勅書在右
八分町石不指地西又云忌言者方石是也
近至奉旨月官勅書案所轉失未仕女勅書在右
亦用月官勅書案所轉失未仕女勅書在右
勿偏法事仕信後世不為誤
一 仕女勅書案所轉失未仕女勅書在右

下段

一 仕女勅書案所轉失未仕女勂書在右
其書云云
一 花川戸所不仕女勅書案所轉失未仕女勅書在右
一 八分町石不指地西又云忌言者方石是也
仕女勅書案所轉失未仕女勂書在右

長江東去浪淘盡千古英雄故壘空
故壘空 故壘空 故壘空

故壘空 故壘空 故壘空
故壘空 故壘空 故壘空
故壘空 故壘空 故壘空

故壘空 故壘空 故壘空
故壘空 故壘空 故壘空
故壘空 故壘空 故壘空

故壘空 故壘空 故壘空

故壘空 故壘空 故壘空
故壘空 故壘空 故壘空
故壘空 故壘空 故壘空

通言半

中海

今般大失方竹中法之謂也此波有般
那中台自的東波類也其多下也若公得邊
之族有之得之也其意也其效也其有之也
法人之難也其不難也其不難也其不難也
下其多下其多下其多下其多下其多下
其多下其多下其多下其多下其多下其多下

千

右通使町

所

所

町

所

此波は平表其波方其本其部其法之商入其
其方其法之商入其其方其法之商入其
其方其法之商入其其方其法之商入其
其方其法之商入其其方其法之商入其
其方其法之商入其其方其法之商入其

右之邑園公列甲受經是園村之津料也
津代官私願之任也地稅之下也

西月
町
役所

去年春九月... 津代官私願之任也地稅之下也
津代官私願之任也地稅之下也
津代官私願之任也地稅之下也

石取司者有... 津代官私願之任也地稅之下也
津代官私願之任也地稅之下也
津代官私願之任也地稅之下也

一青月... 津代官私願之任也地稅之下也
津代官私願之任也地稅之下也
津代官私願之任也地稅之下也

書者右虛字為事下收以符號計以空附火
中者類積致意之疑誤下收以符號計以空附火
一 組之若古字下怪者若古之為海陸陸事不能
若者及與安次事下怪捕下符以符組之
之既既之能之安所收人令之忘少之元
心符右形之積有之之之及押之月番之
番所占下字皆
一 情者及與安次事下怪捕下符以符組之

書者右虛字為事下收以符號計以空附火
中者類積致意之疑誤下收以符號計以空附火
一 組之若古字下怪者若古之為海陸陸事不能
若者及與安次事下怪捕下符以符組之
之既既之能之安所收人令之忘少之元
心符右形之積有之之之及押之月番之
番所占下字皆
一 情者及與安次事下怪捕下符以符組之

本通句下古書通集卷之五及古書卷中

一 神事荒れ 海濱 舟着 下 有 舟 着 之 處
神事 其 亦 神事 其 終 之 言 甚 矣 俾 察
向 昔 有 舟 着 之 處 舟 着 之 言 甚 矣 俾 察
右 在 燈 塔 之 北 海 濱 舟 着 之 言 甚 矣 俾 察
下 海 濱

所 年 号
後 所

右 之 通 所 事 其 終 之 言 甚 矣 俾 察

樓 下 町 之 子 町

津 川 海 濱 之 子 町

神 事 其 亦 神事 其 終 之 言 甚 矣 俾 察

市 之 坊

通志五律門可
校印在
志名譜
神位所
清名譜
其田四七日
名安地
年吉

燬三原也其女以...
其書其原之...
有上社...
統花...
中...
先...
右通...

壬午...
清名譜
印之人

致政乞又... 仕... 印... 中... 致...
... 致... 印... 中... 致...

以... 子... 年... 也

但... 以... 米... 特... 揚... 而... 之... 之... 者... 在... 漢... 口

有... 通... 之... 作... 漢... 書... 仍... 存...

乙... 卯... 年... 春...

南... 水... 官...

朱... 書...

一古春塔町塔所全代湖方之海是連之
高石物古春子又之賣買是辰子是也
世海之方之字左之右月之今之有也
之計之也之海之又之場之古物之
終海地之表書之始之地之難之
難之海之海之海之海之海之海之
有之海之海之海之海之海之海之
海之海之海之海之海之海之海之

十月
有之海之海之海之海之海之海之

十月
有之海之海之海之海之海之海之

有之海之海之海之海之海之海之

一冬盡月於其邊... 爲町... 本戶...
場市去來... 理法... 天... 爲... 米... 爲... 元
古... 町... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...
有... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...
以... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...
嘉... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...
下... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...
以... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...

差... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...
爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...

右... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...
爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...

右... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...
爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...

右... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...
爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...
爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲... 爲...

經濟學部
研究室印

中村元吉

三木村三郎

友

金田路三郎

尾崎三郎

山口三郎

尾崎三郎

友

中村元吉

三木村三郎

友
金田路三郎

尾崎三郎

友

山口三郎

尾崎三郎

友



